

# 静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2023年2月17日時点)

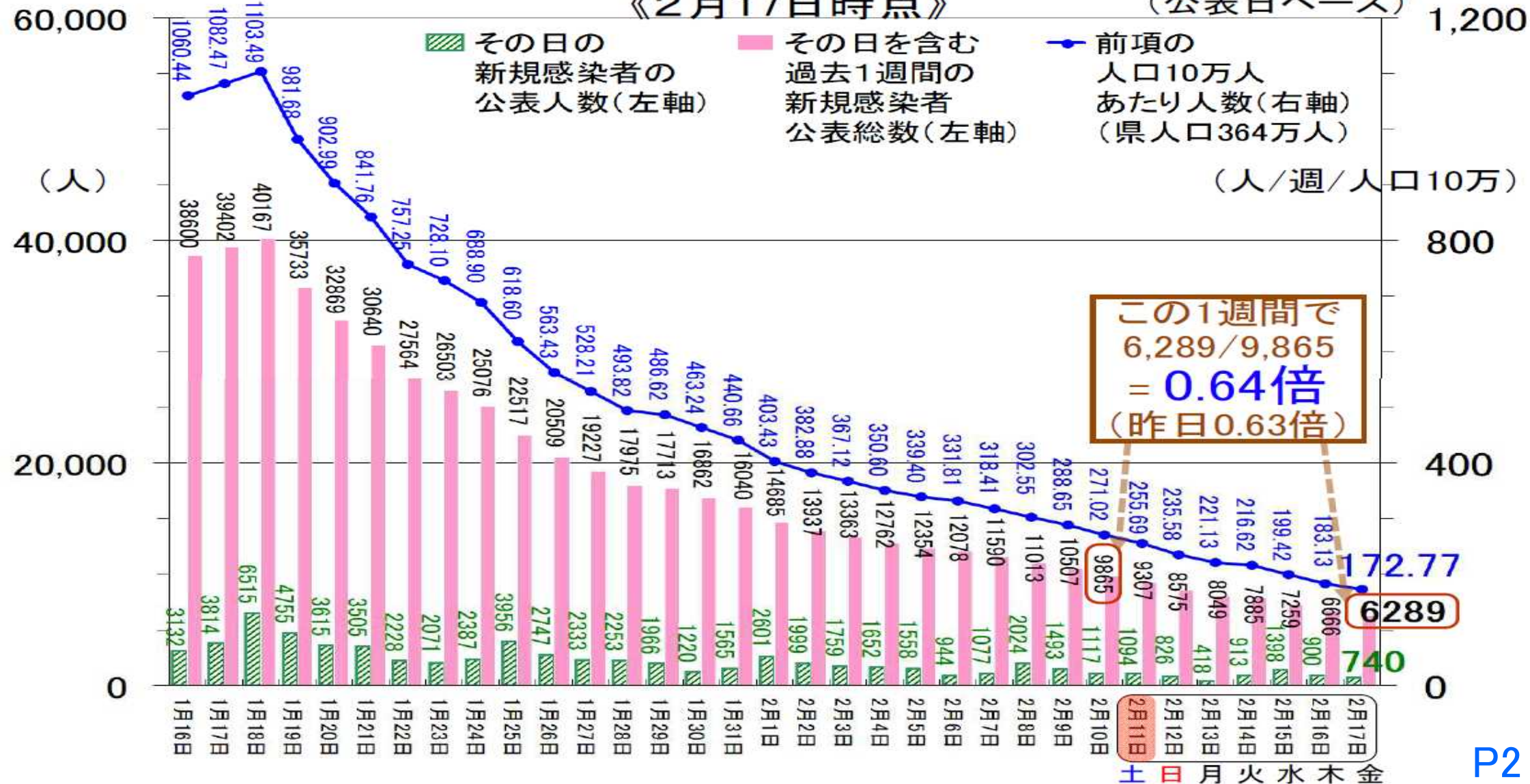


静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

# 静岡県の直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況《2/17時点》

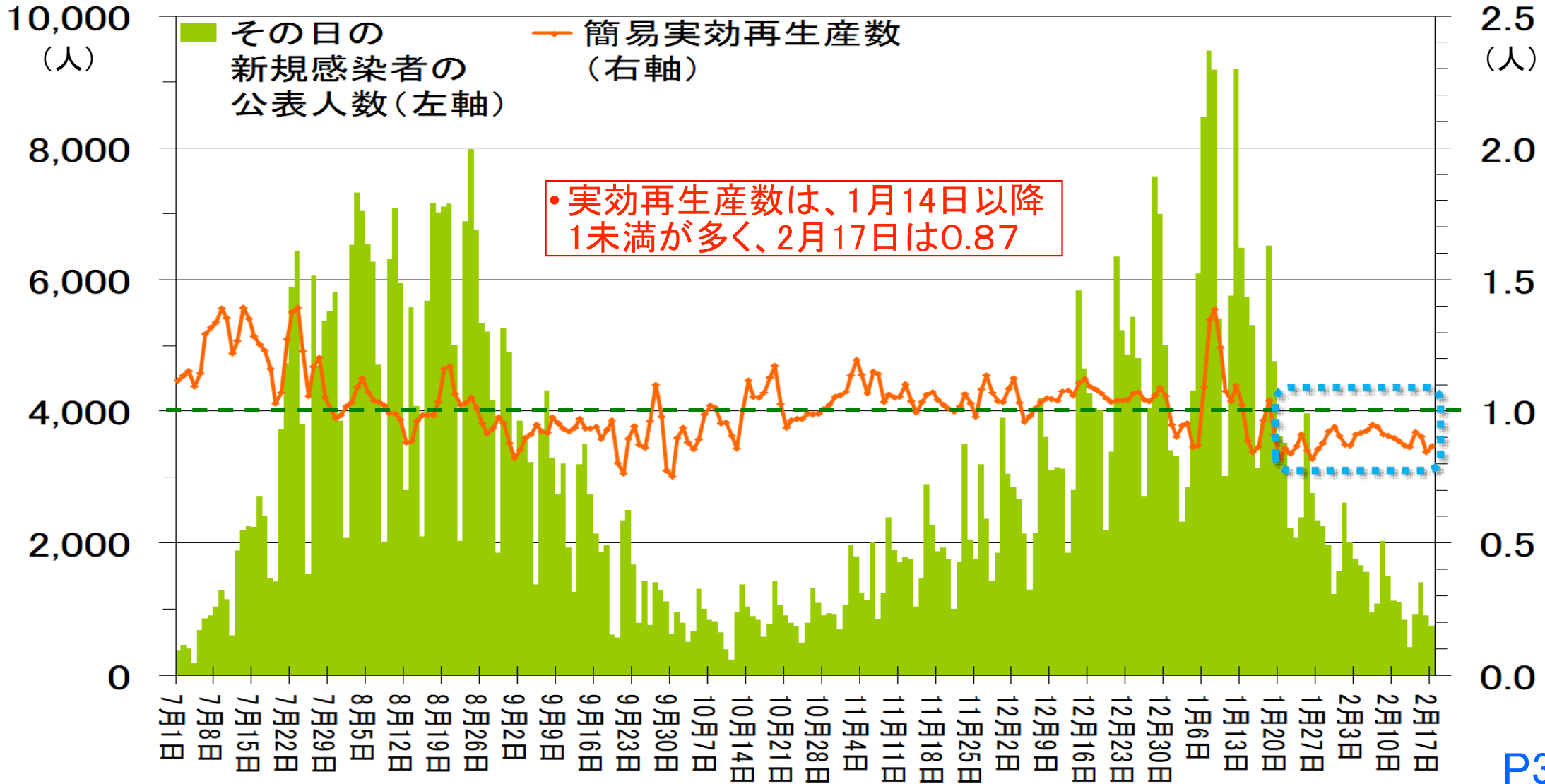
《2月17日時点》

(公表日ベース)

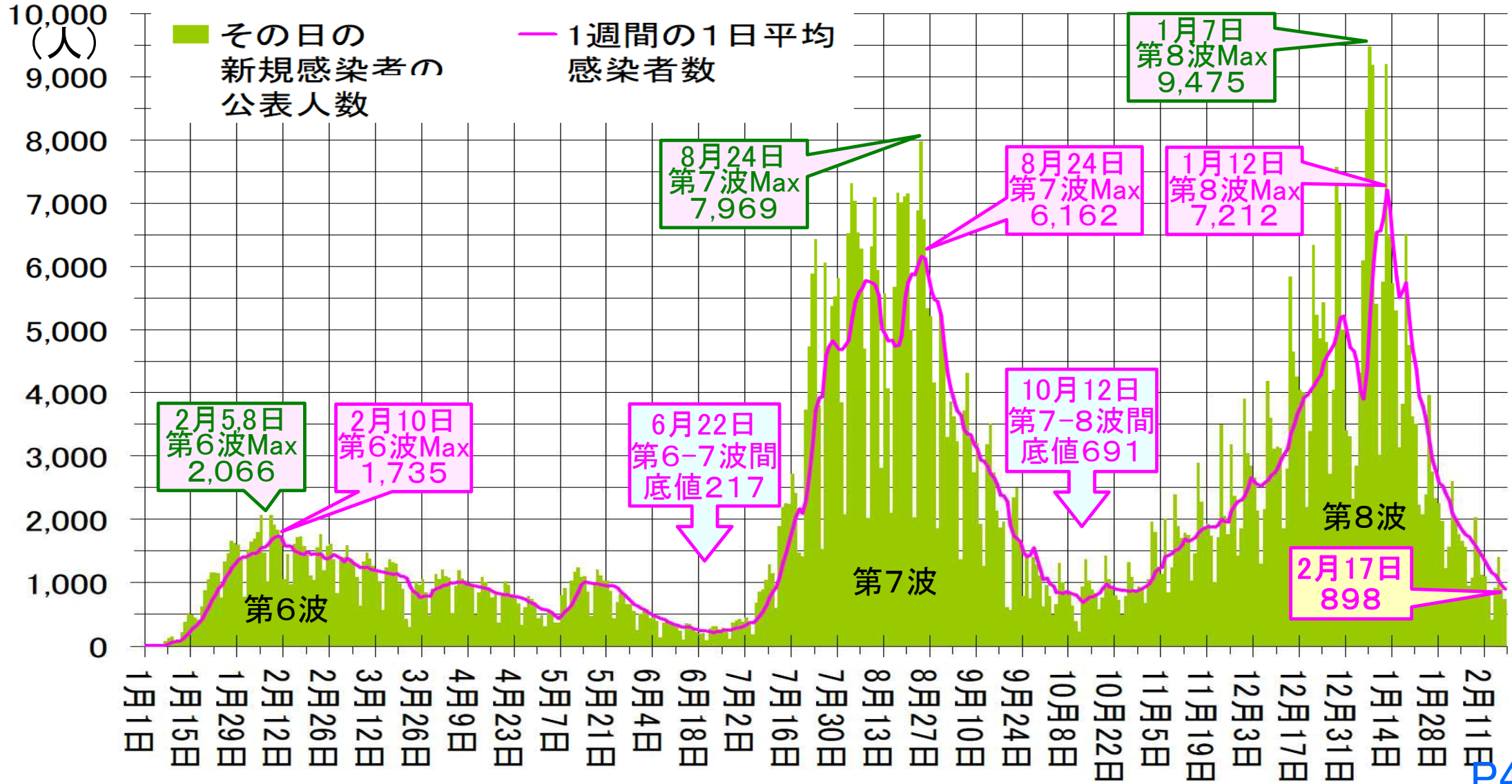


# 静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数(2022.7/1~2023.2/17)

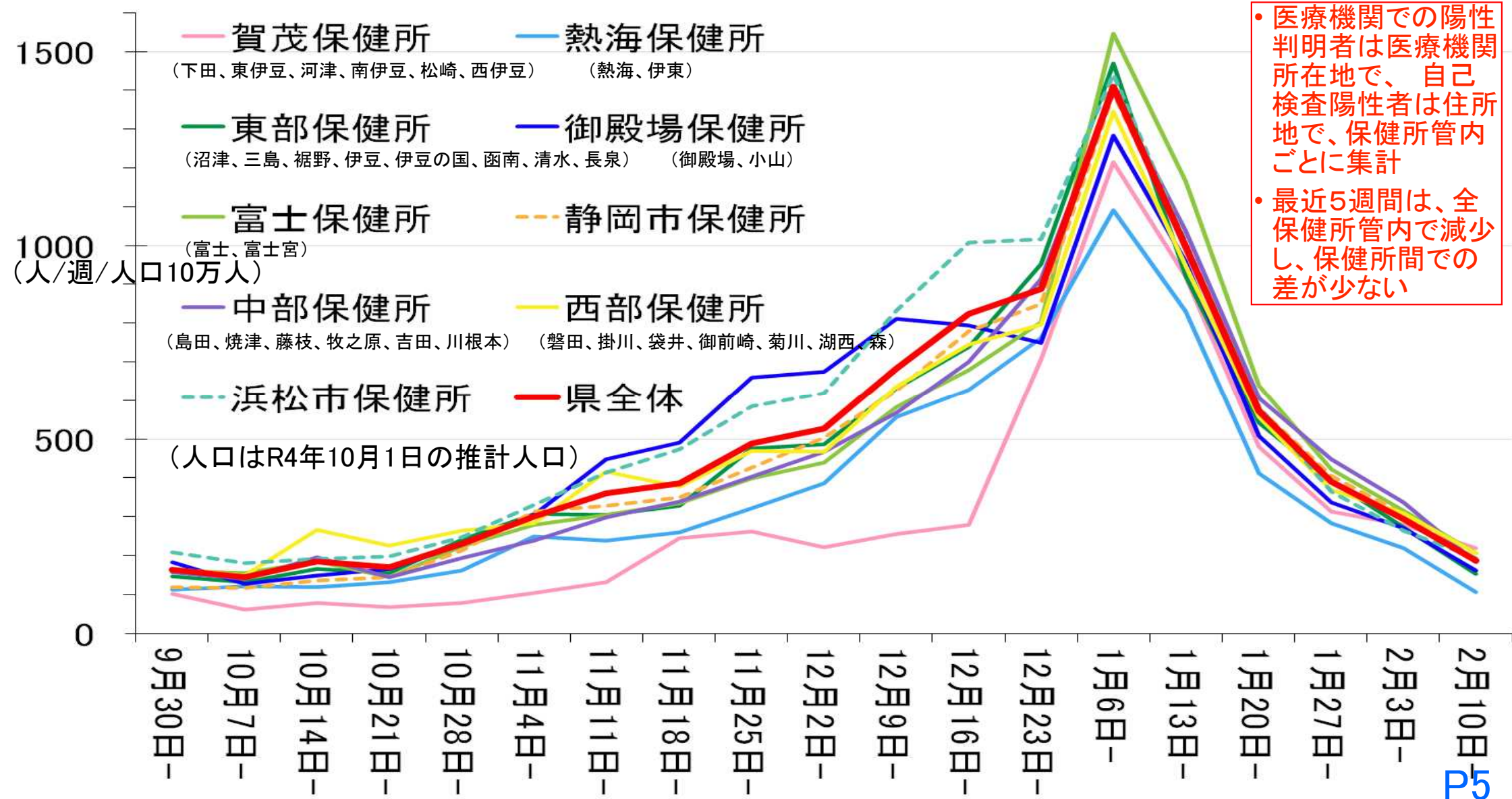
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



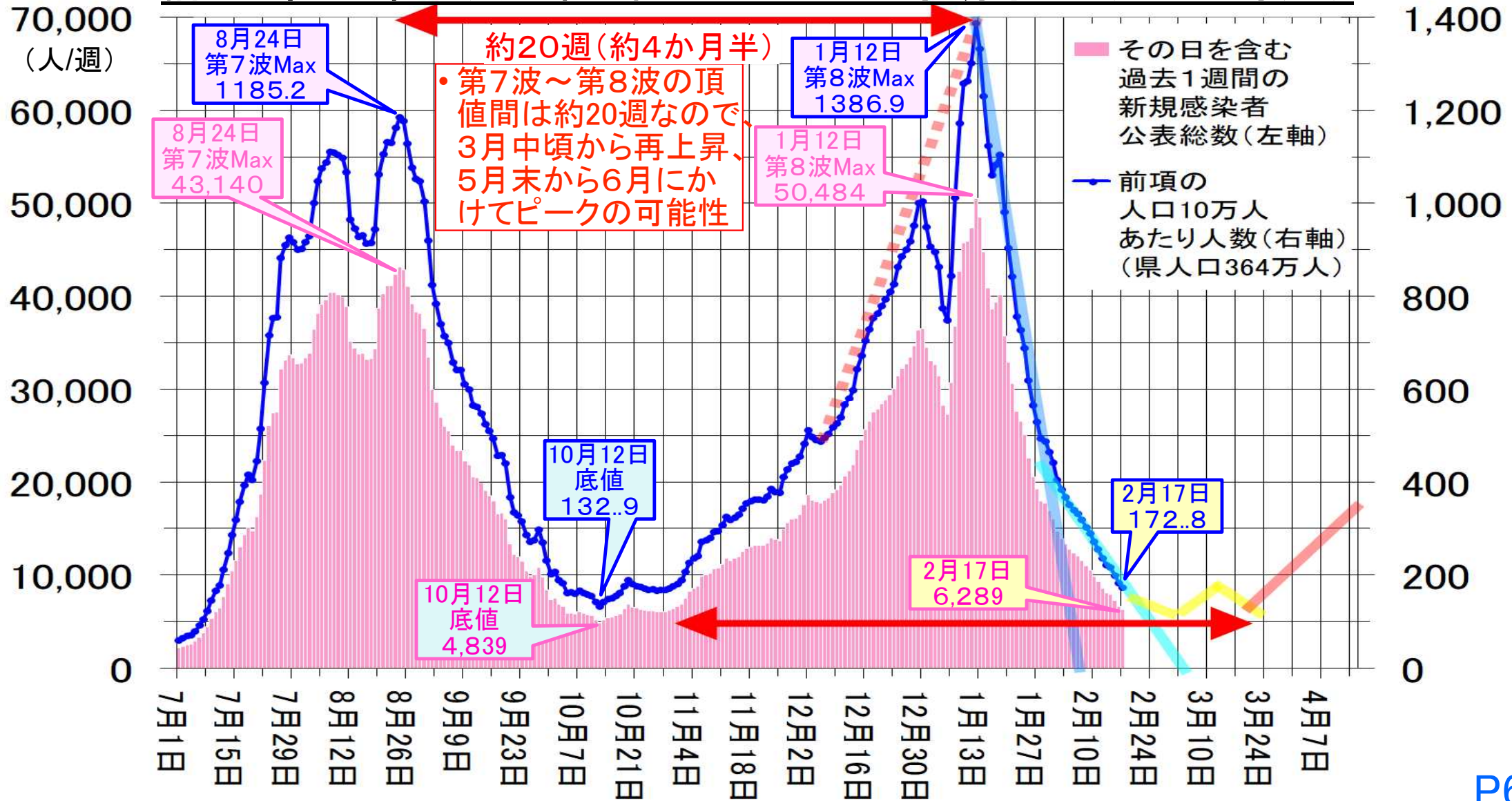
# 静岡県 第6波以降 オミクロン感染者の状況 (2022.1/1~2023.2/17)



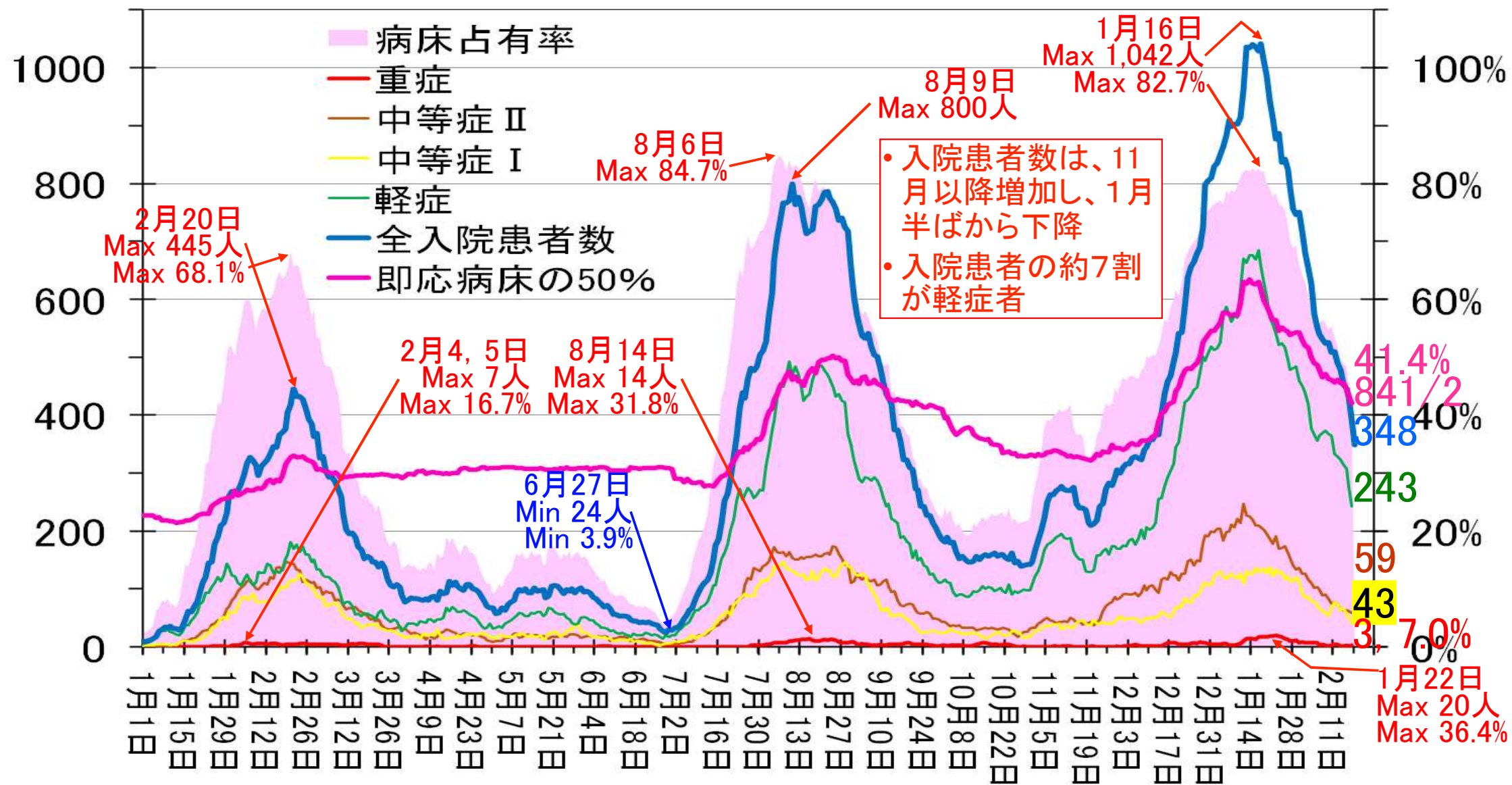
# 静岡県 保健所管内別 1週間人口10万人あたりコロナ陽性者数(2022.9/30~2023.2/16)



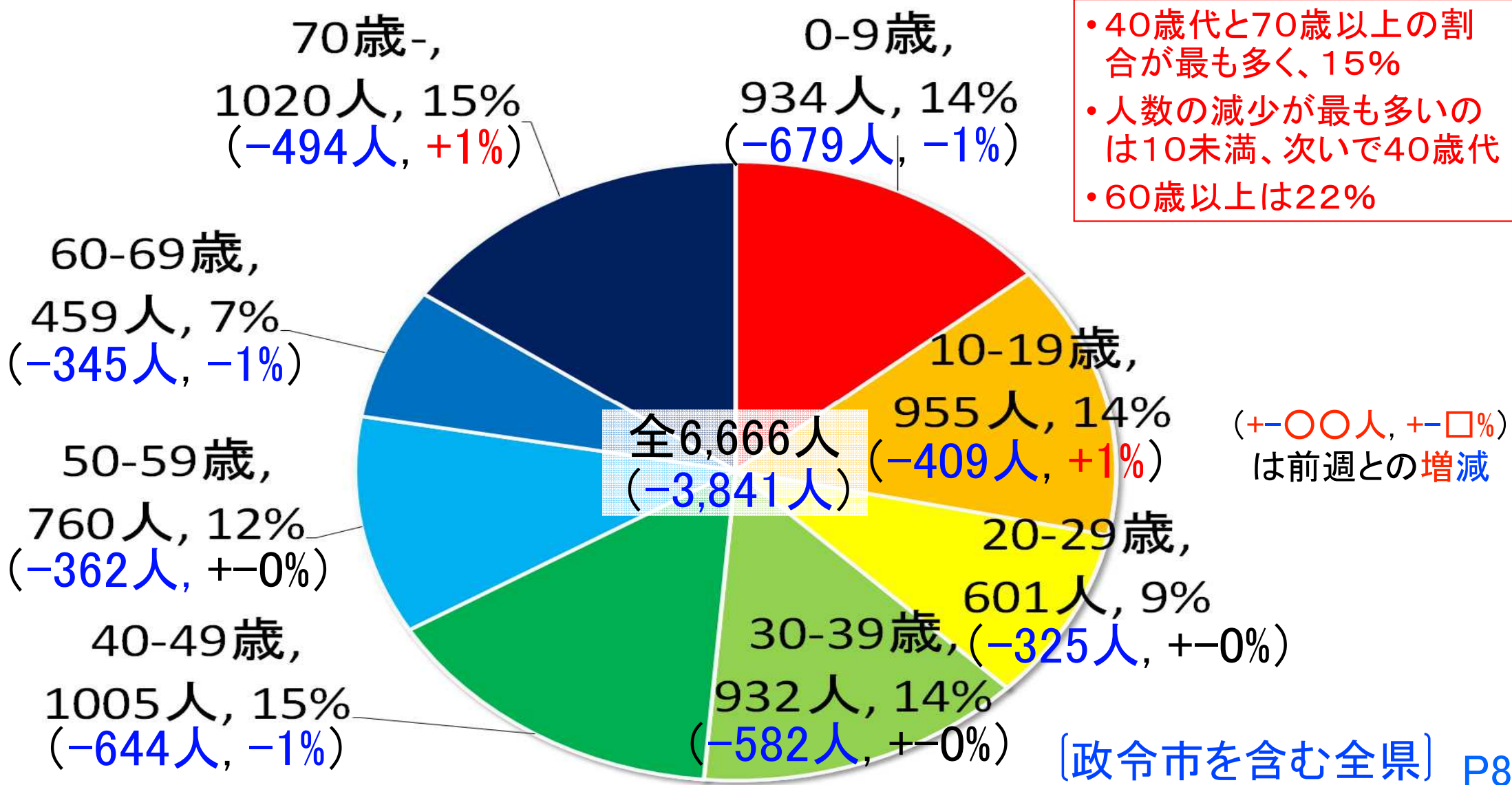
# 静岡県の第9波の開始とピークの時期予想(2/17時点)



# 静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(2022.1/1~2023.2/17)

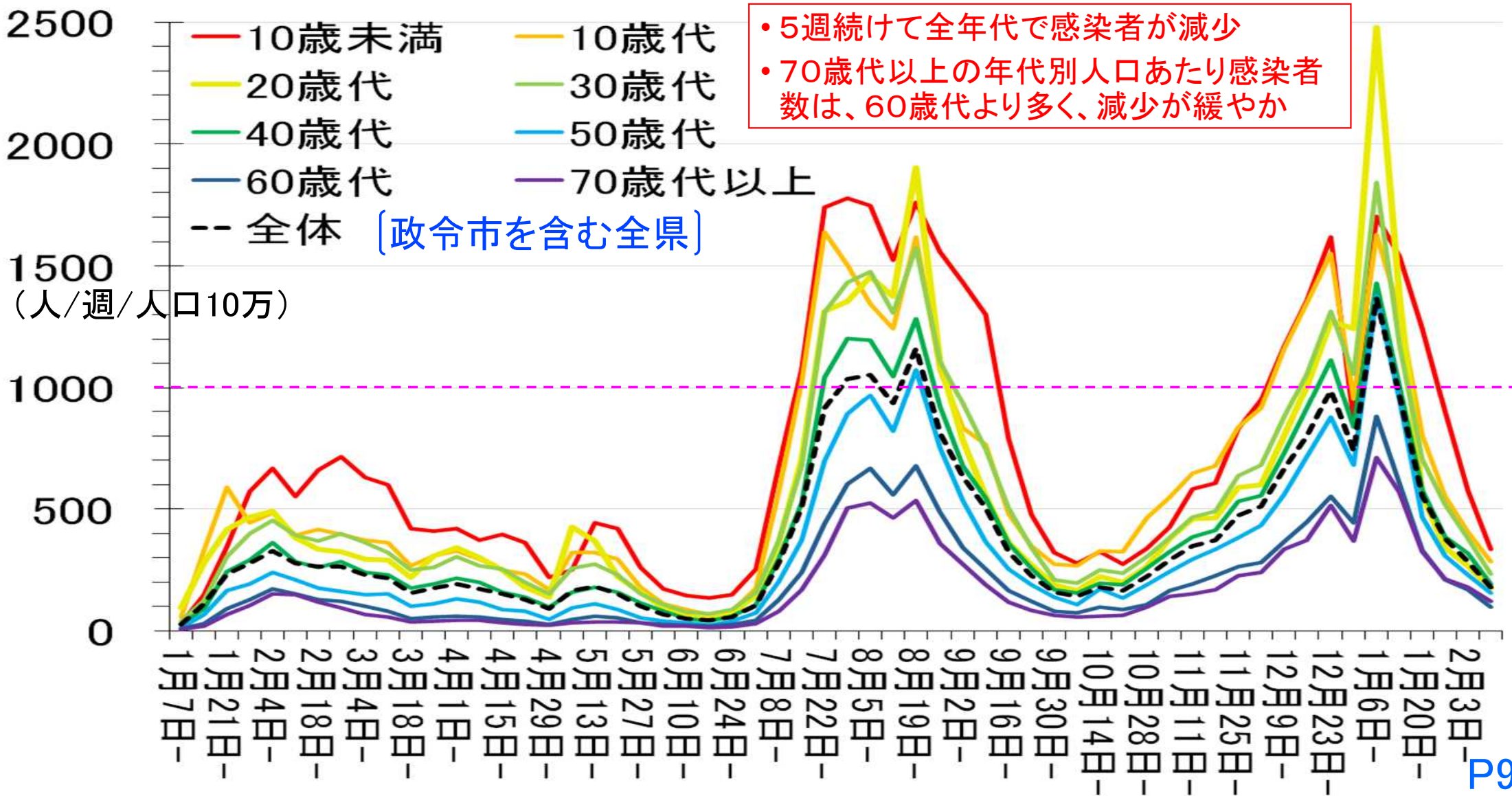


# 静岡県直近の年齢別感染者数・割合 (2/10~2/16)

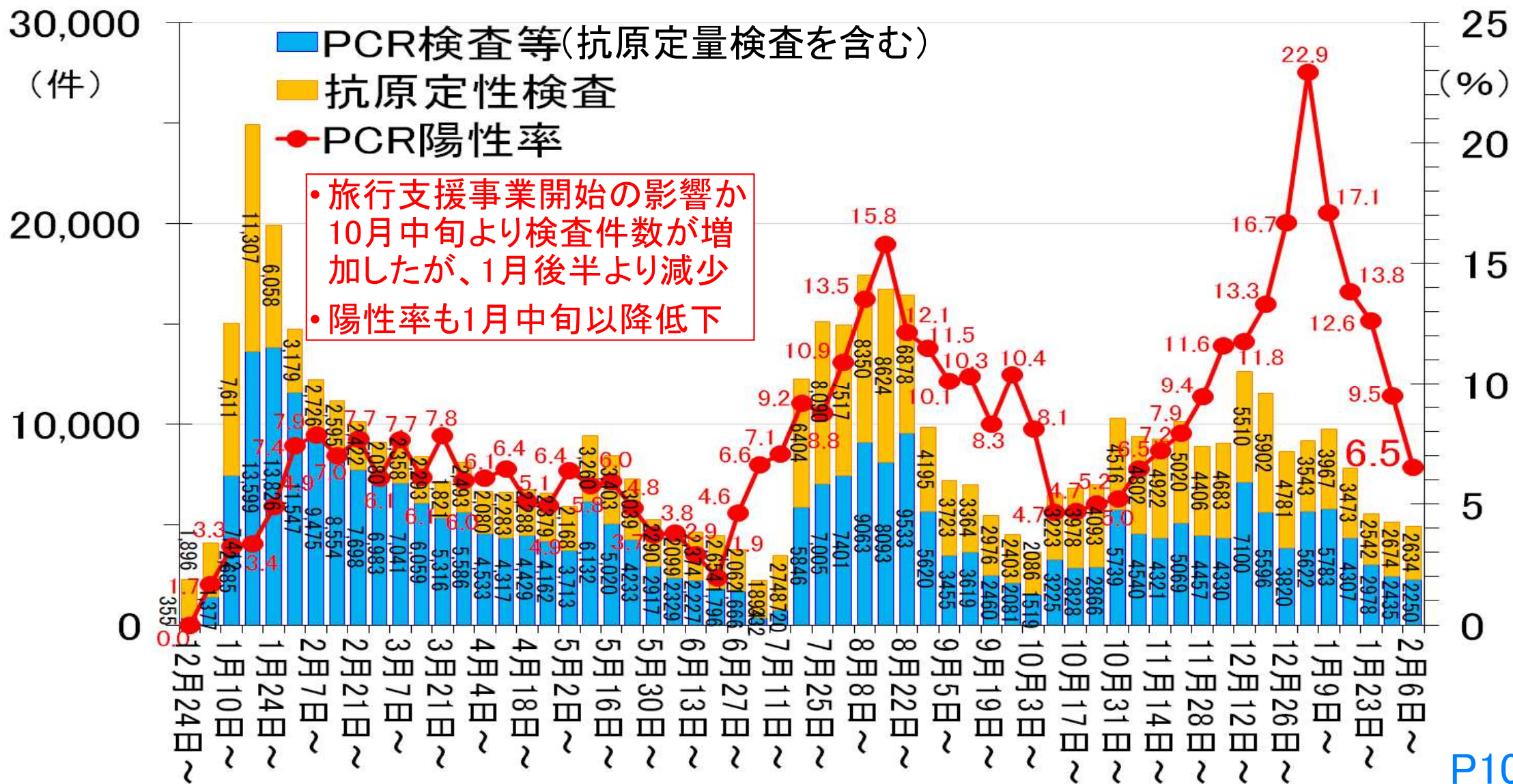




# 静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数(2022.1/7~2023.2/16)

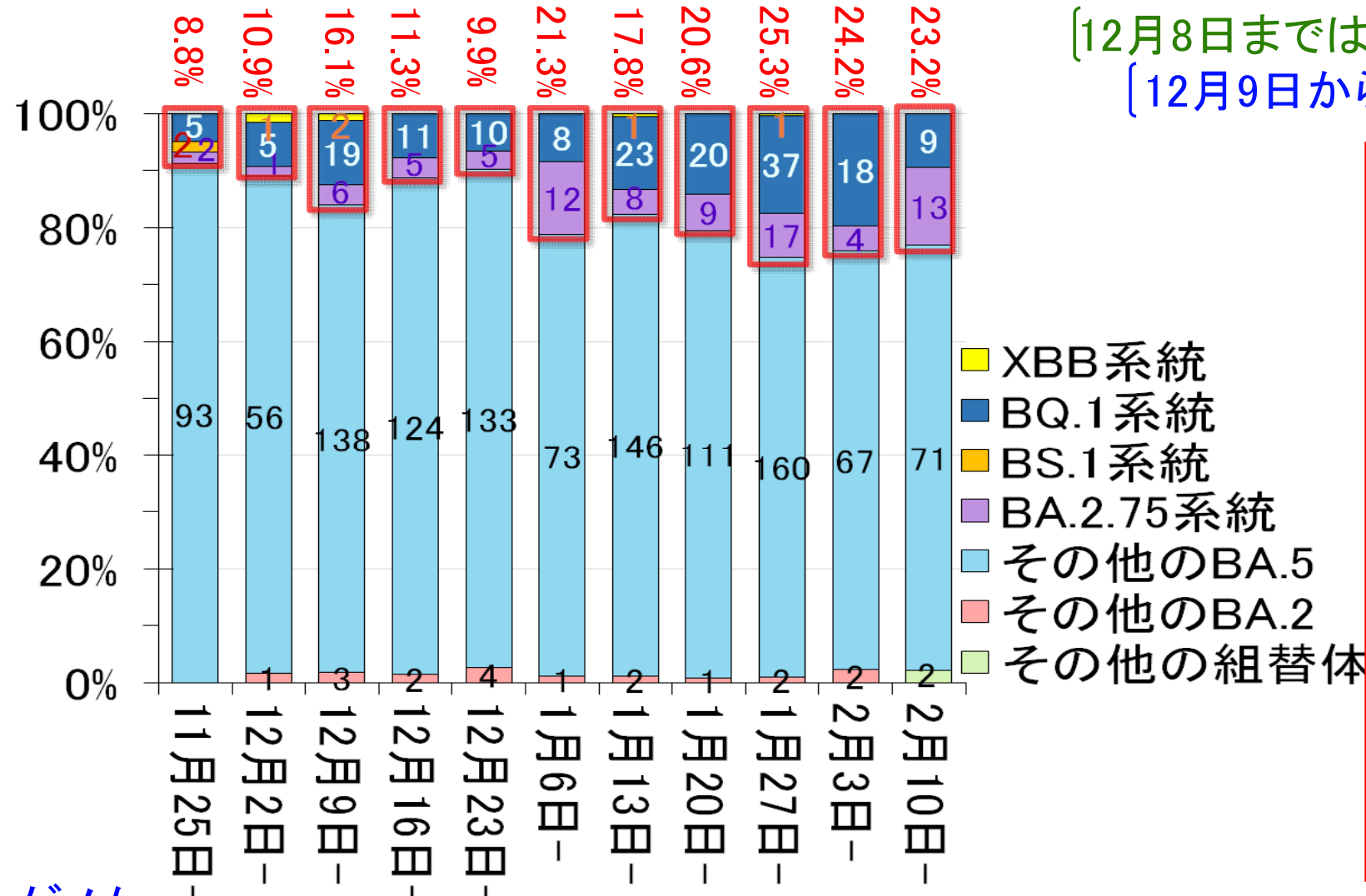


# 静岡県 無料検査の検査件数と陽性率(2021.12/24～2023.2/12)



# 静岡県 オミクロン株 感染者数増加が示唆される亜系統の状況 (2022.11/25～2023.2/16)

[12月8日までは政令市を除く県所管地域]  
 [12月9日からは政令市を含む県全体]

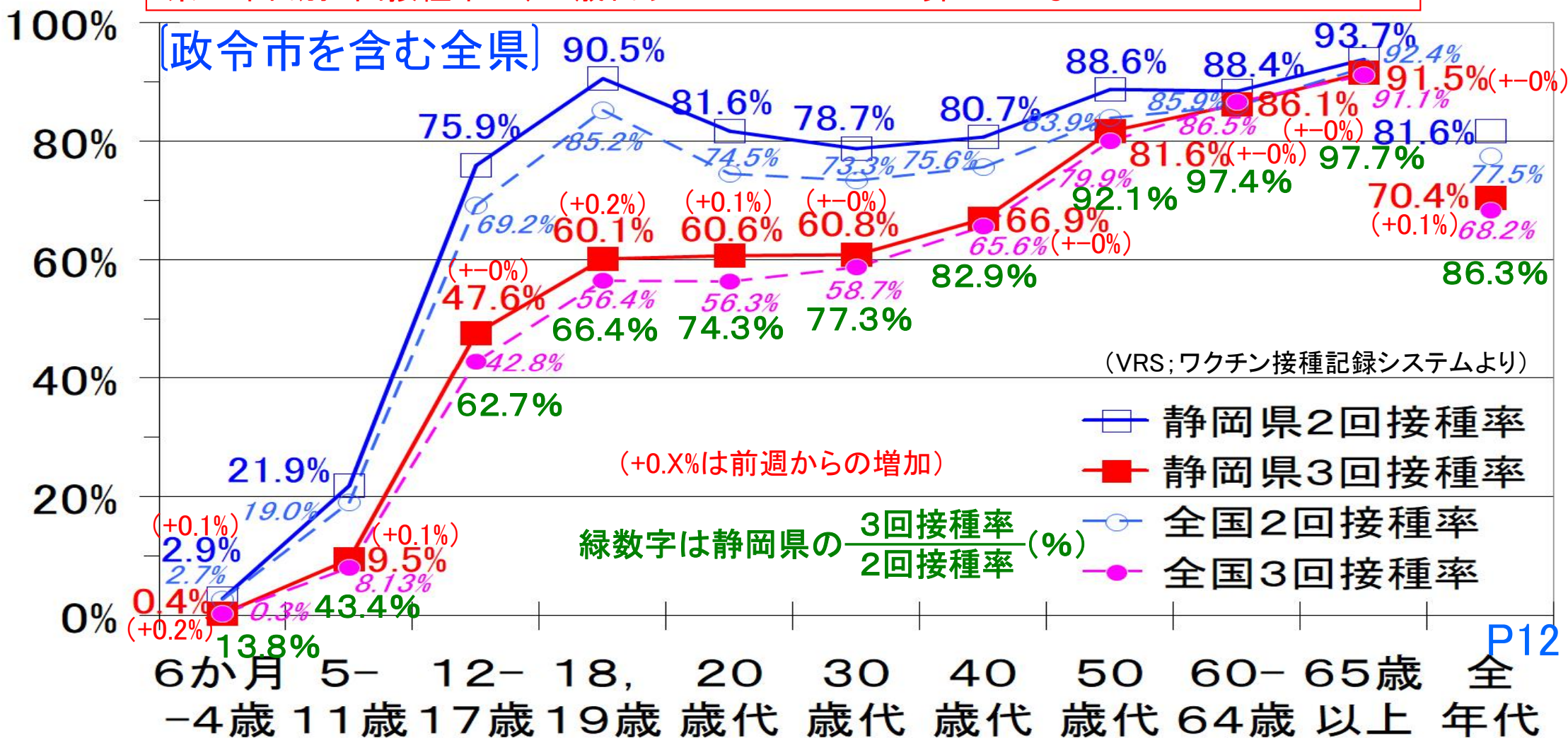


- 国立感染症研究所が、中和抗体からの逃避や感染者数増加の優位性が示唆される亜系統として動向を注視する必要があるとしたオミクロン株の系統※の検出状況を示す
  - 上述の系統に属する亜系統が、直近の週に県全体で計22検体(23.2%)検出された
  - なお、検体採取は結果が判明した週の約2週前
- ※ BA.2.75系統、BA.4.6系統、XBB系統、BQ.1系統、BS.1系統

ゲノム解析数 102,64, 168,142,152,94, 180,141,217,91, 95,

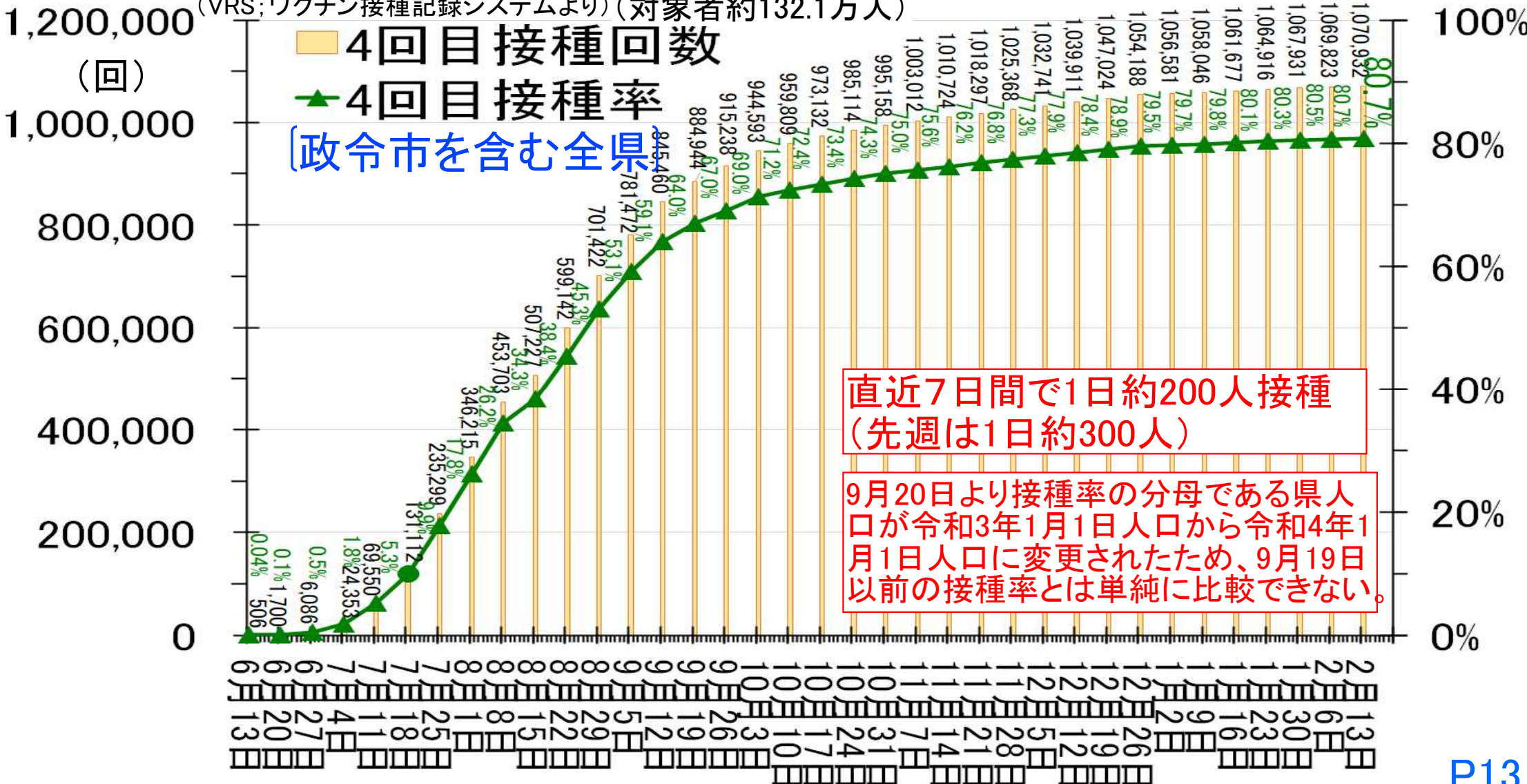
# 県と国 コロナワクチン2,3回目年代別接種率 (2/13時点)

- ・県の3回接種率を全国と比べると、60～64歳を除いて全国より高い(0.1～4.8ポイント高い)
- ・県の年代別3回接種率は、30歳代以上ではほとんど上昇していない

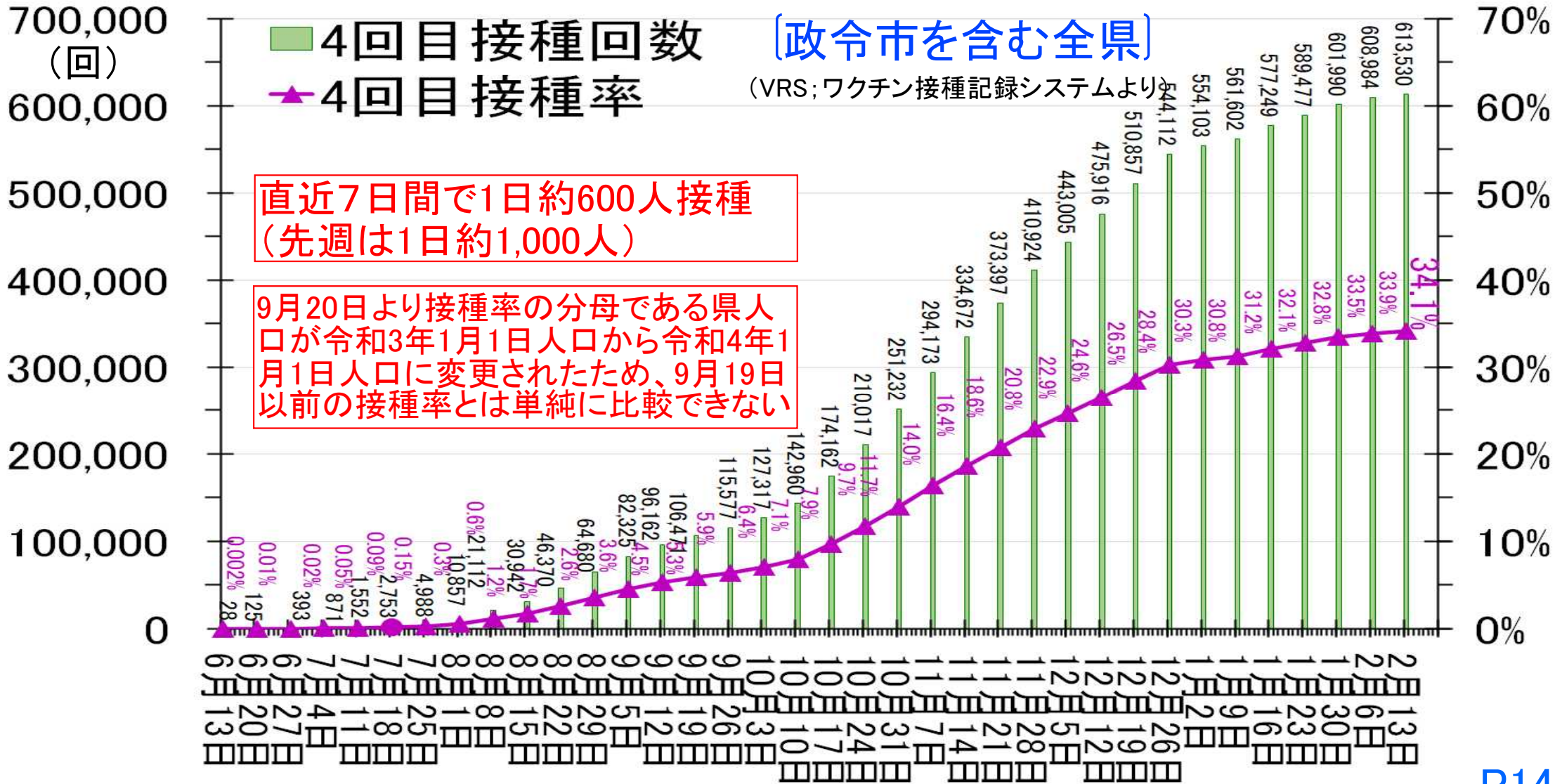


# 静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 60歳以上(6/13~2/13)

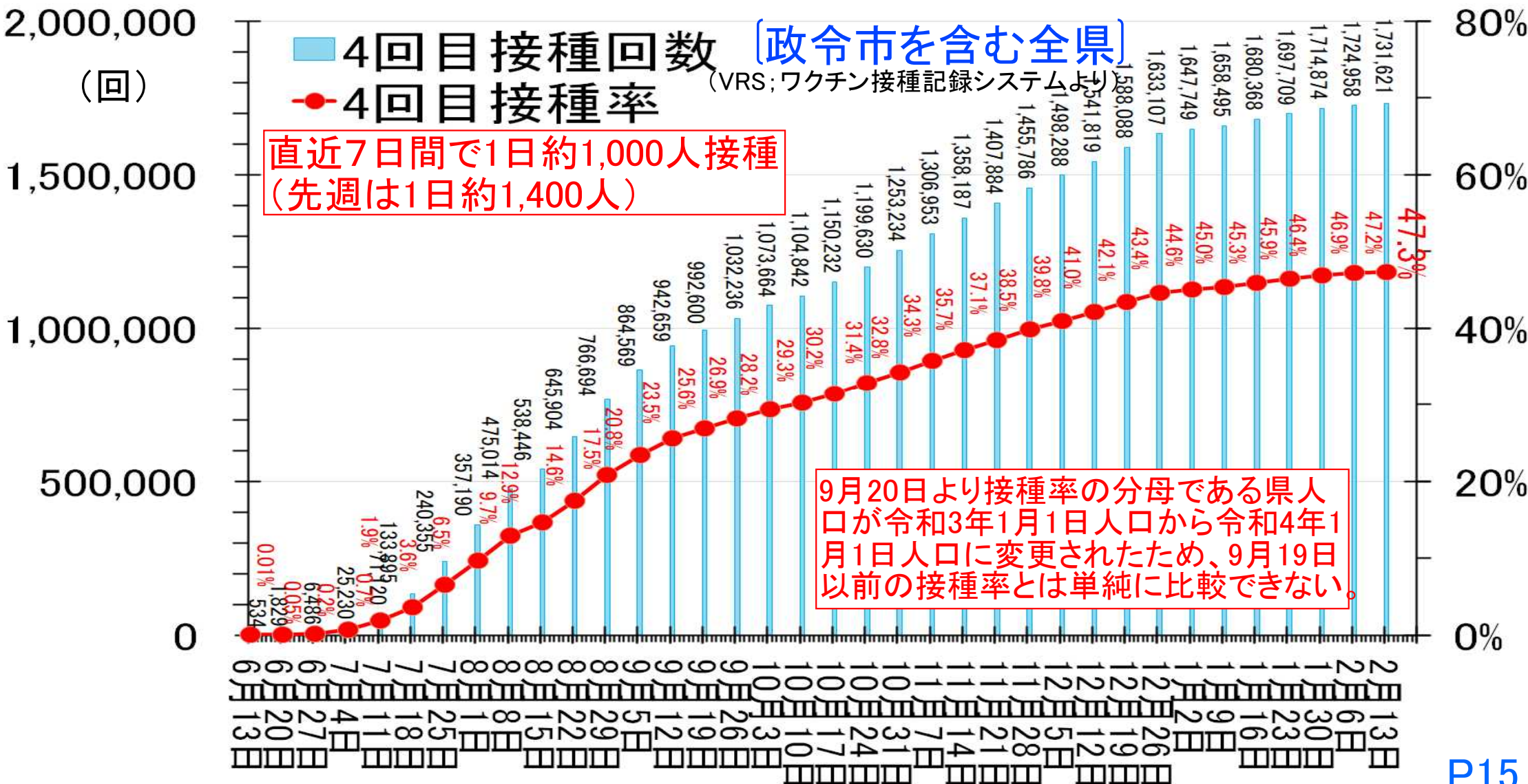
(VRS; ワクチン接種記録システムより) (対象者約132.1万人)



# 静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 18~59歳(6/13~2/13)



# 静岡県 コロナワクチン4回目接種状況 全年代(6/13~2/13)



# 静岡県 乳幼児コロナワクチン1回目接種状況 6か月～4歳(11/7～2/13)

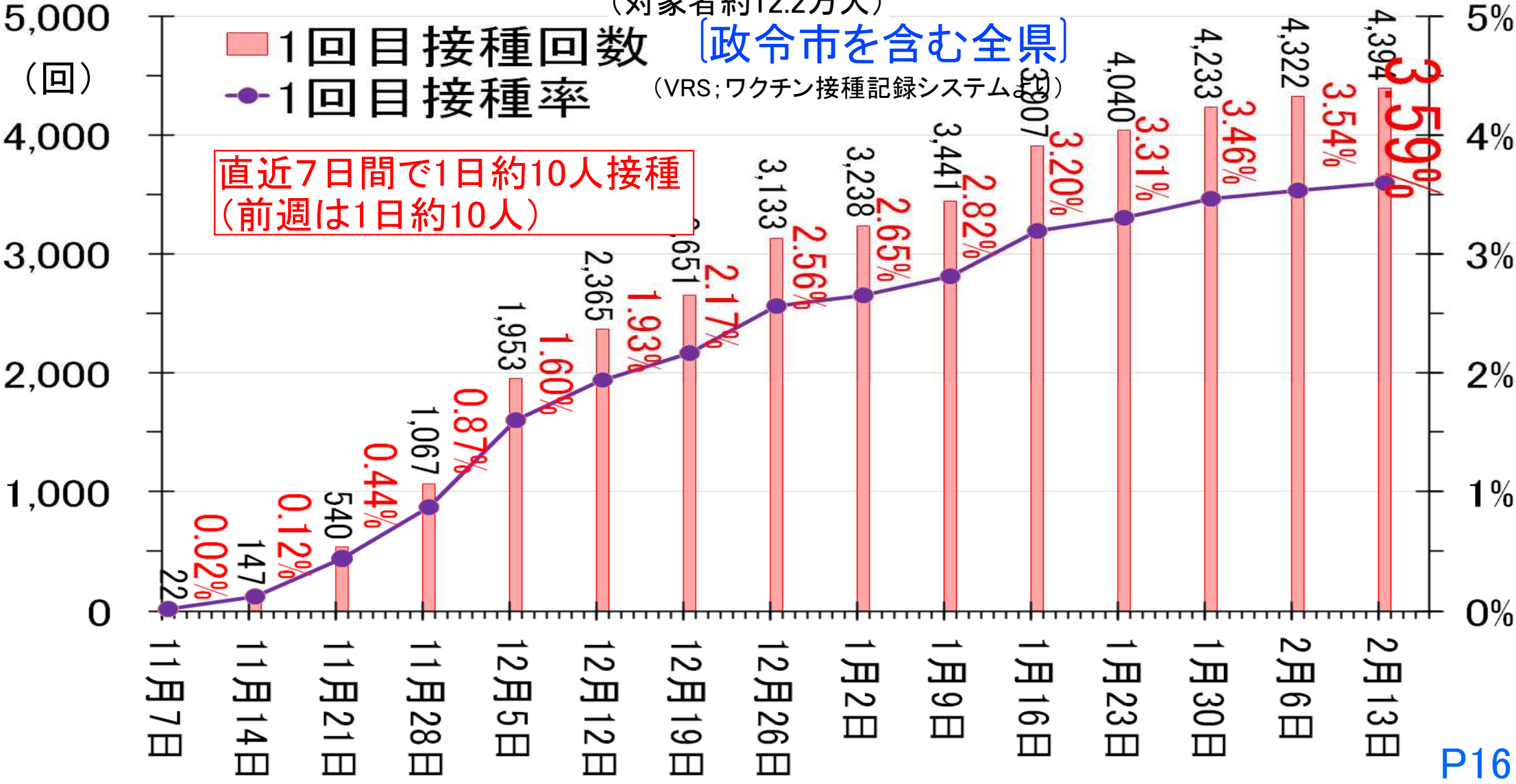
(対象者約12.2万人)

〔政令市を含む全県〕

(VRS; ワクチン接種記録システム)

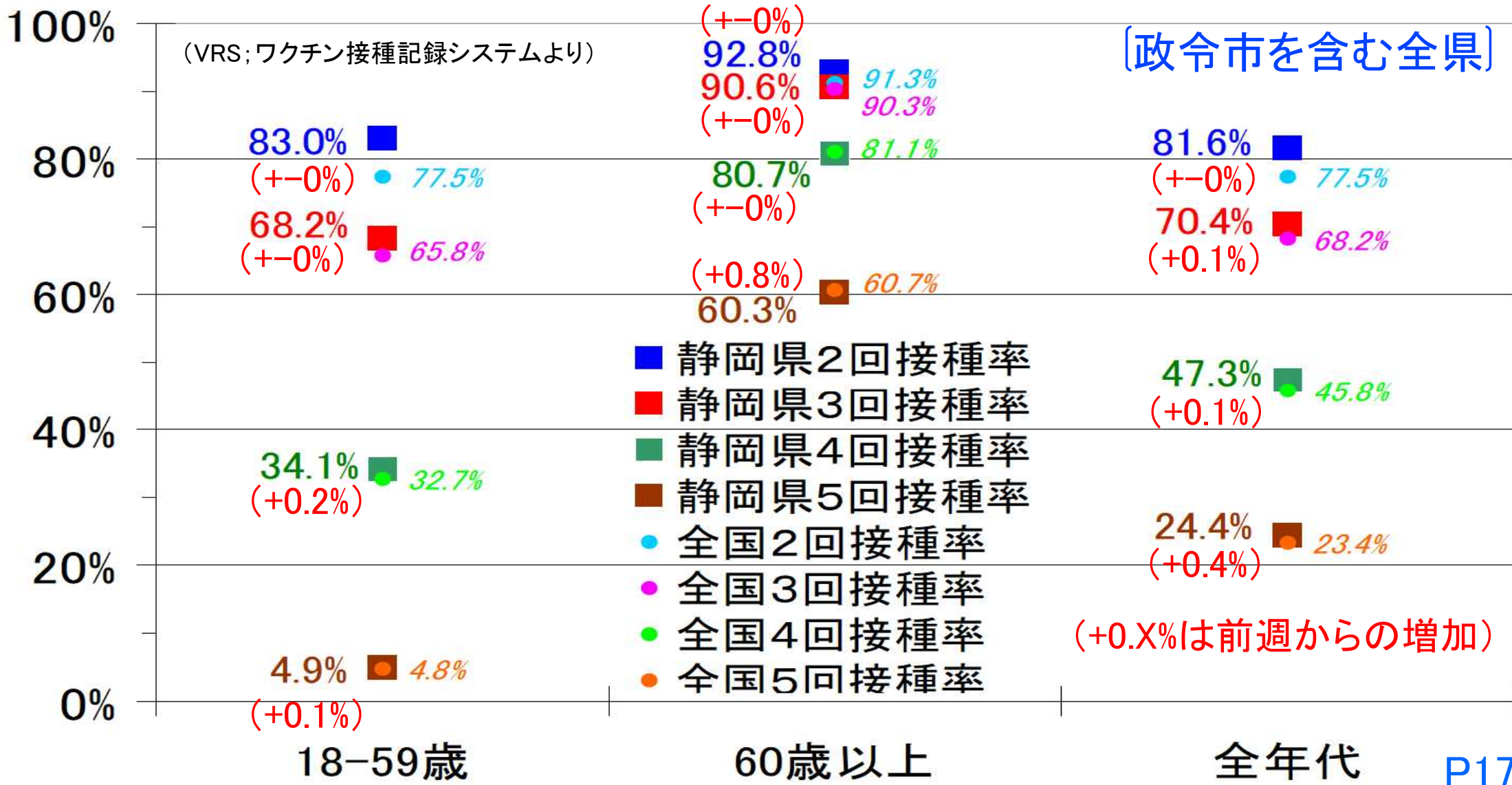
■ 1回目接種回数  
● 1回目接種率

直近7日間で1日約10人接種  
(前週は1日約10人)





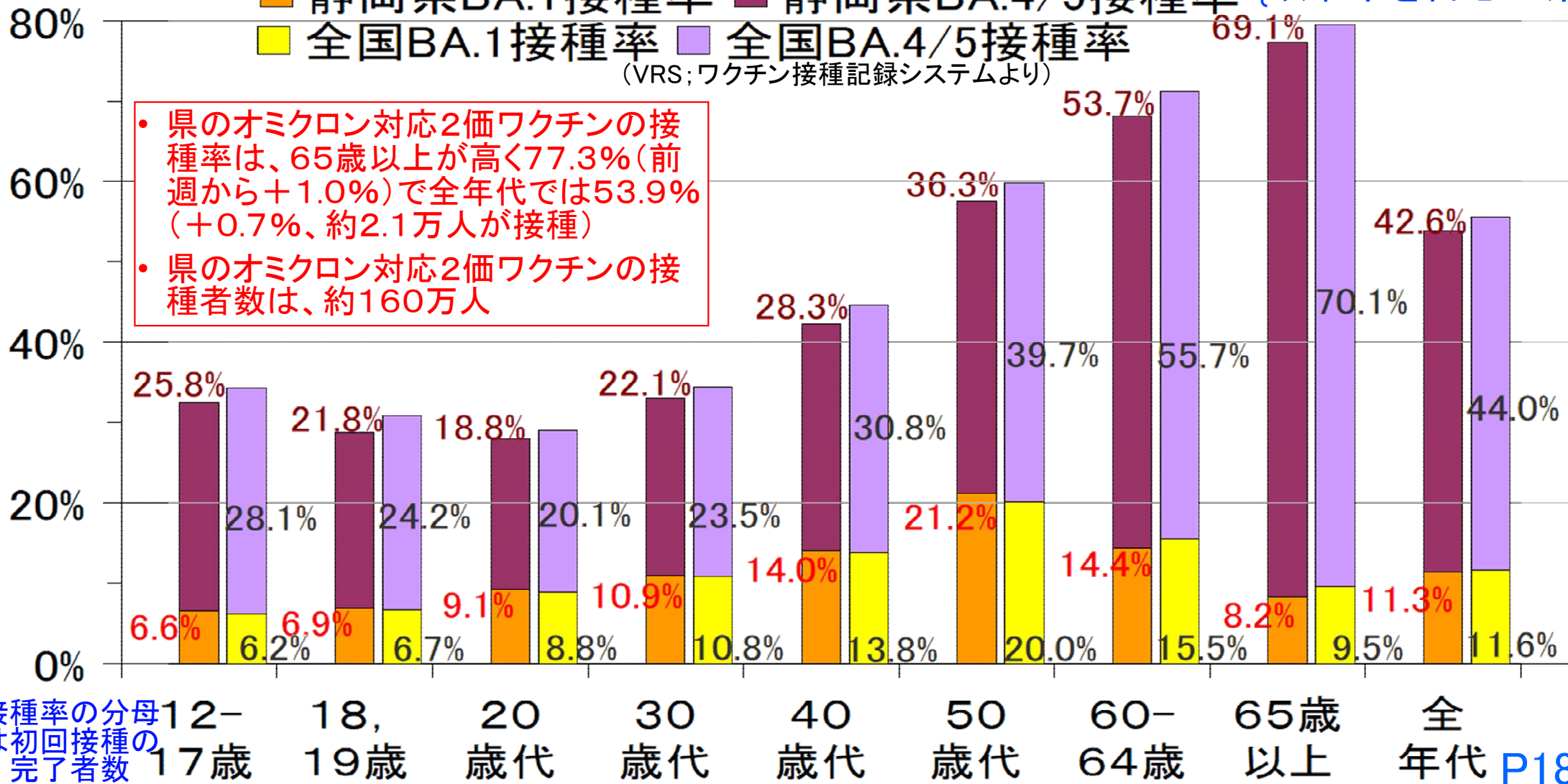
# 県と国 コロナワクチン2～5回目年代別接種率（2/13時点）



# 県と国 オミكرون対応ワクチン年代別接種率（2/13時点）

■ 静岡県BA.1接種率 ■ 静岡県BA.4/5接種率 ■ 全国BA.1接種率 ■ 全国BA.4/5接種率 [政令市を含む全県]  
(VRS; ワクチン接種記録システムより)

- 県のオミكرون対応2価ワクチンの接種率は、65歳以上が高く77.3%（前週から+1.0%）で全年代では53.9%（+0.7%、約2.1万人が接種）
- 県のオミكرون対応2価ワクチンの接種者数は、約160万人



接種率の分母は初回接種の完了者数

# 静岡県 新型コロナ第3波～BA.5波の死亡者数(～2023.2/16)

[政令市を含む全県]

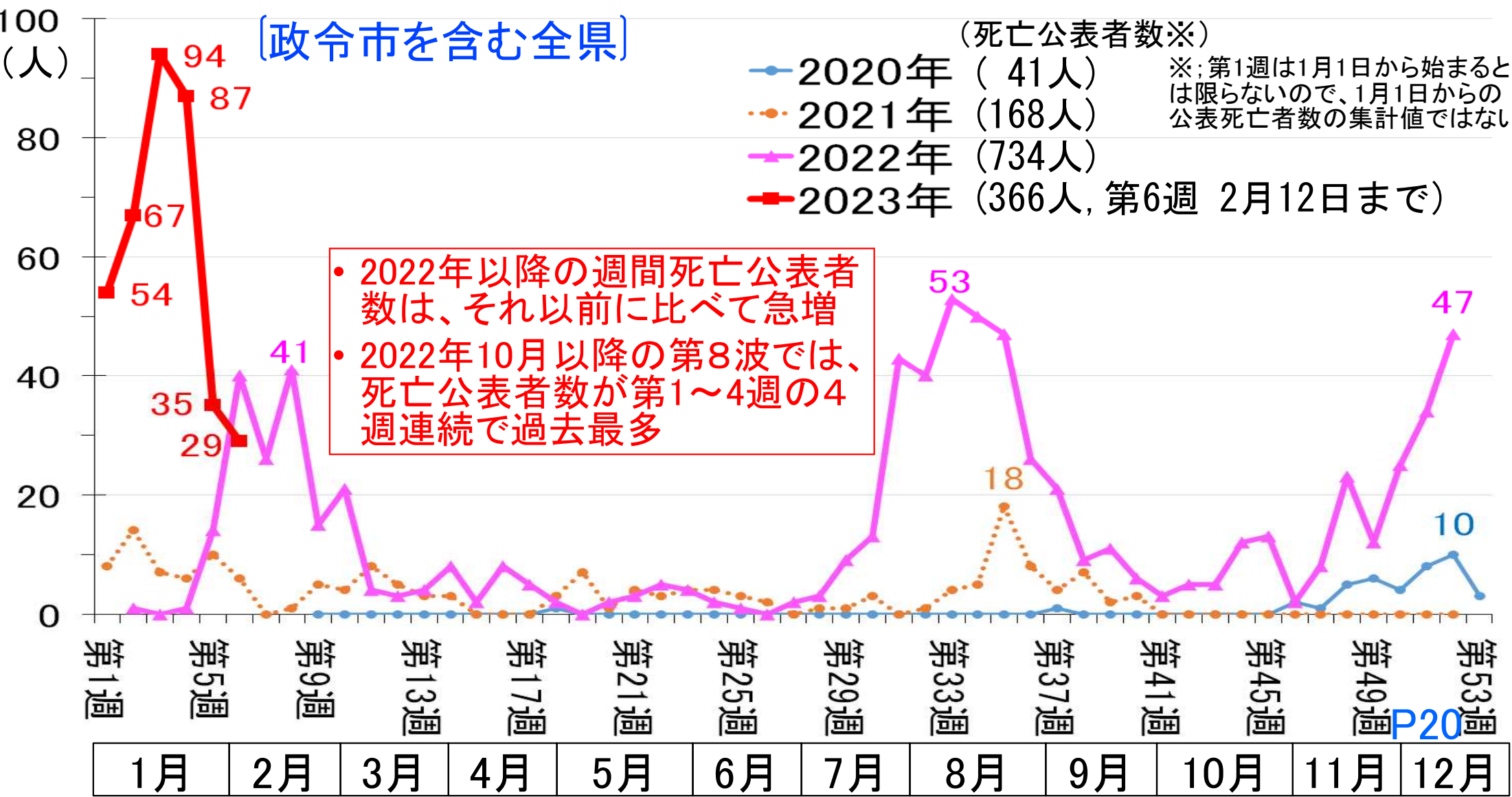


オリジナル株主体, アルファ株主体, デルタ株主体, オミクロンBA.1主体, BA.2主体, オミクロンBA.5系統主体

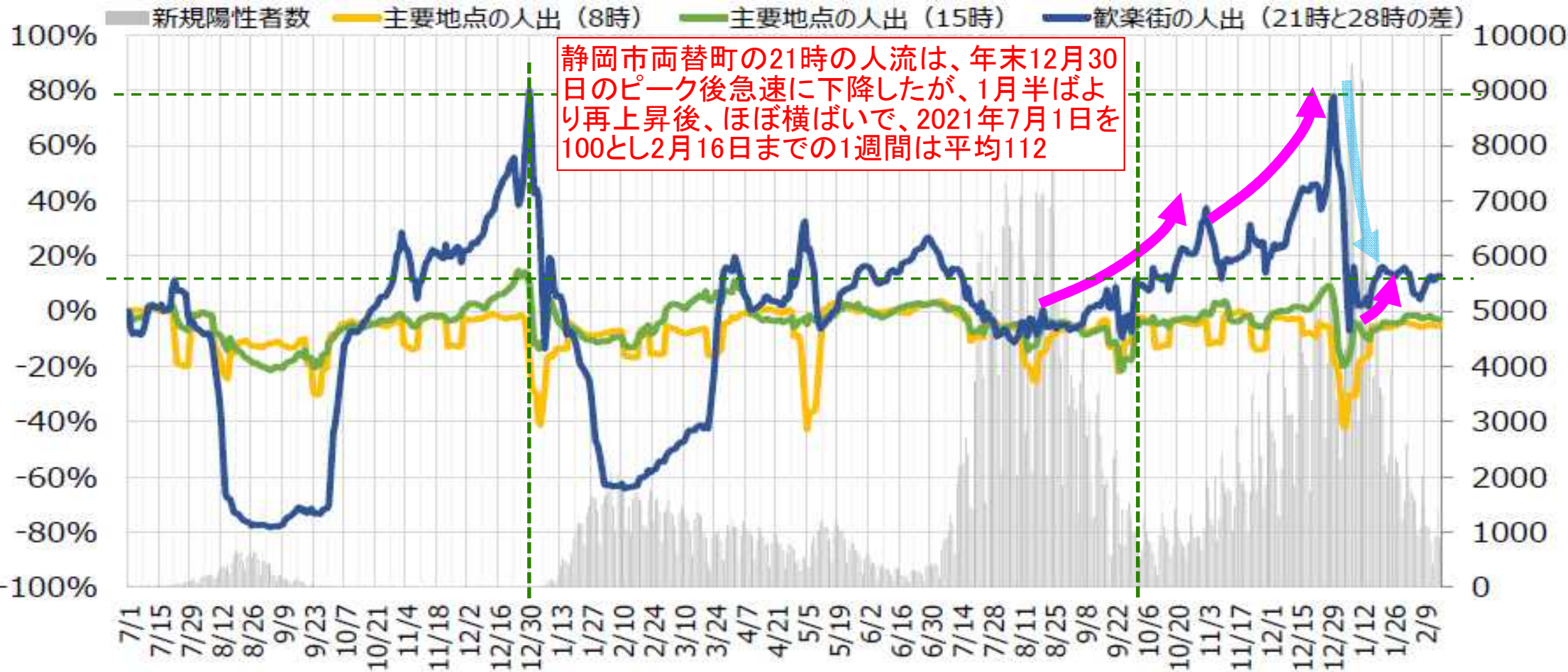
2020.11.16～21.2.15, 21.4.1～6.30, 21.7.1～9.30, 22.1.1～3.31, 22.4.1～6.30, 22.7.1～9.30, 22.10.1～12.31, 23.1.1～2.9時点

感染者数 (92日間) 3,975人 (91日間) 3,603人 (92日間) 17,289人 (90日間) 94,945人 (91日間) 57,596人 (92日間) 313,739人 (92日間) 203,807人 (40日間) 156,707人 P19

# 静岡県 週ごとに公表された新型コロナ陽性死亡者数(2020.2~2023.2)



# 静岡市両替町の人流の状況（2/16時点）



静岡市両替町の21時の人流は、年末12月30日のピーク後急速に下降したが、1年半ばより再上昇後、ほぼ横ばいで、2021年7月1日を100とし2月16日までの1週間は平均112

直近の対7月1日比増減率（ 2月16日 ）	8時	-5%	15時	-3%	21時	13%
-----------------------	----	-----	-----	-----	-----	-----

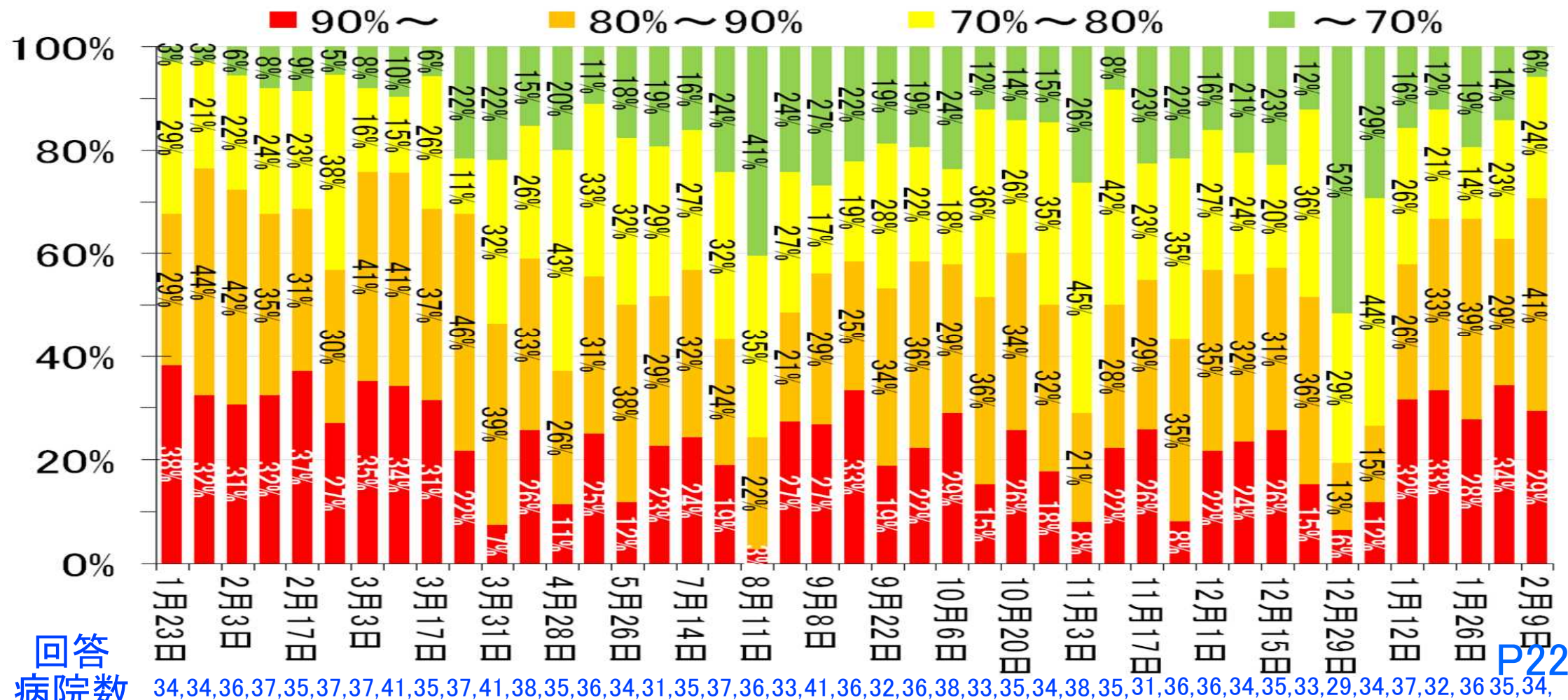
※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町）

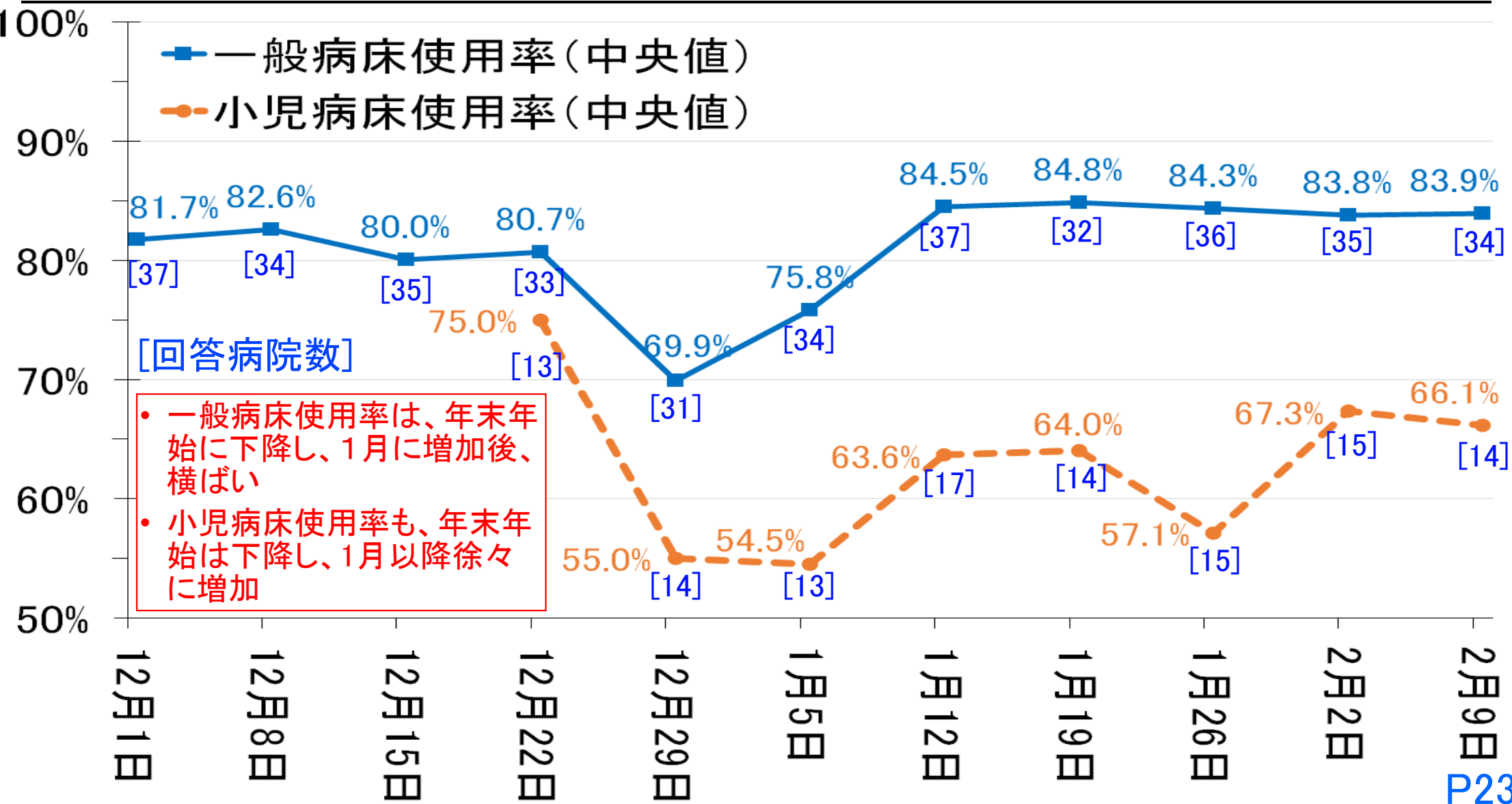
モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

# 静岡県コロナ受入病院の一般病床使用率の状況(2022.1/23~2023.2/9)

- 直近で、一般病床使用率の中央値は83.9%(前週83.8%とほぼ同じ)
- 一般病床使用率90%以上の病院は、10病院(前週より-2病院)で29%を占める



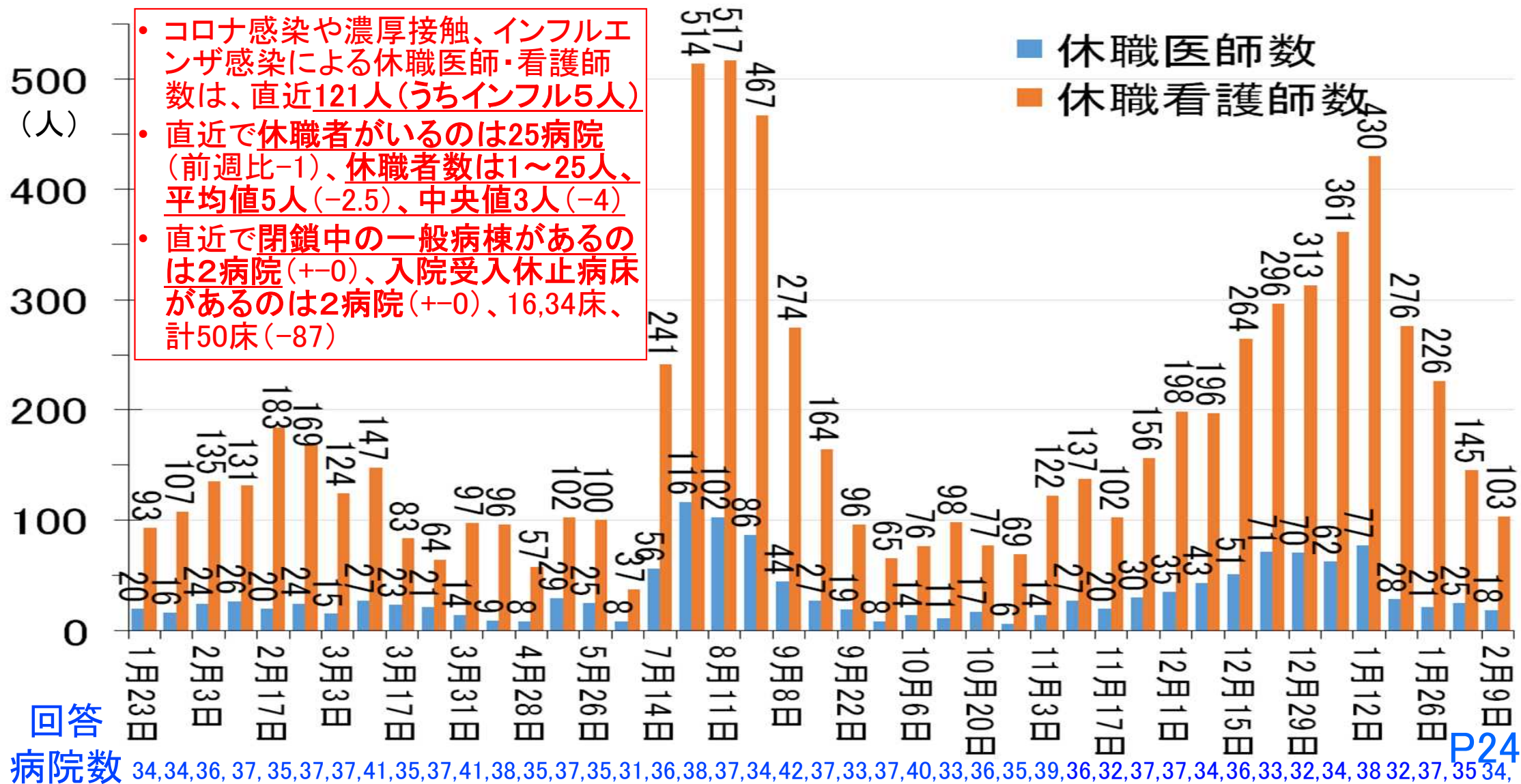
# 静岡県 コロナ受入病院の一般病床及び小児病床の使用率推移 (2022.12/1～2023.2/9)



# 静岡県 コロナ受入病院の休職者の状況(2022.1/23~2023.2/9)

- コロナ感染や濃厚接触、インフルエンザ感染による休職医師・看護師数は、直近121人(うちインフル5人)
- 直近で休職者がいるのは25病院(前週比-1)、休職者数は1~25人、平均値5人(-2.5)、中央値3人(-4)
- 直近で閉鎖中の一般病棟があるのは2病院(+0)、入院受入休止病床があるのは2病院(+0)、16,34床、計50床(-87)

■ 休職医師数  
■ 休職看護師数

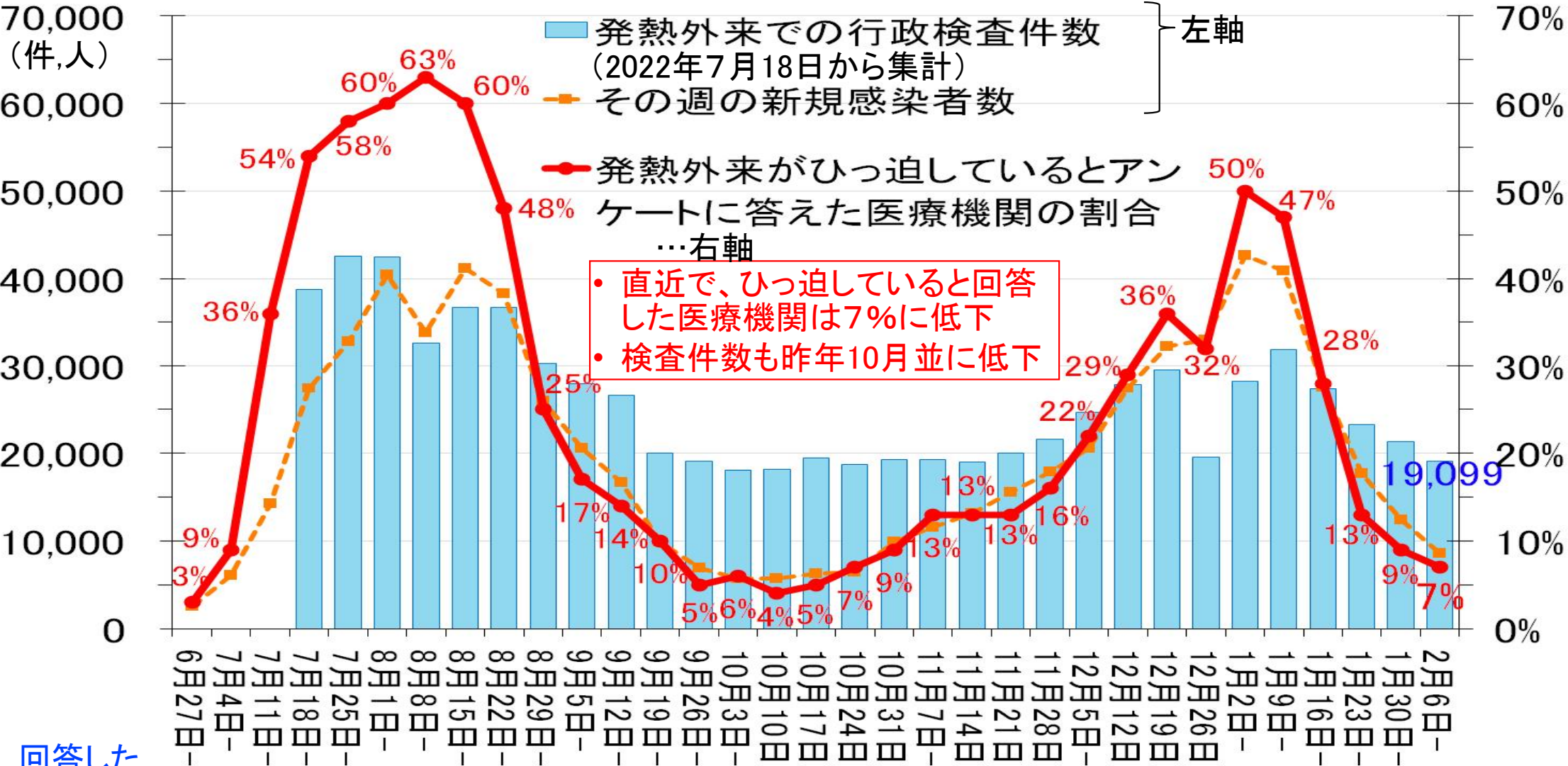


回答

病院数 34,34,36,37,35,37,37,41,35,37,41,38,35,37,35,31,36,38,37,34,42,37,33,37,40,33,36,35,39,36,32,37,37,34,36,33,32,34,38,32,37,35,34,



# 静岡県 発熱等診療医療機関の発熱外来の状況(2022.6/27~2023.2/10)

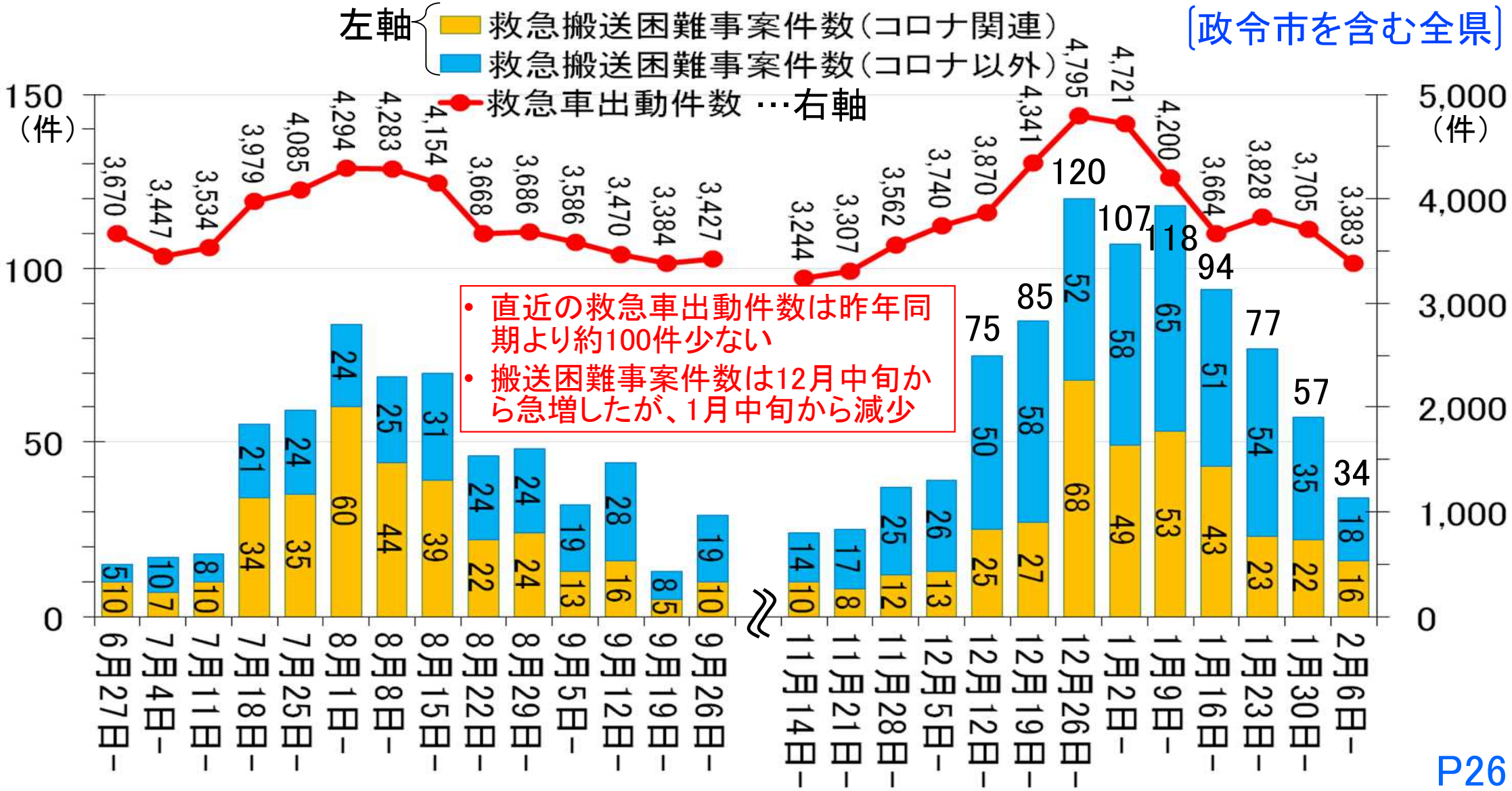


回答した医療機関数

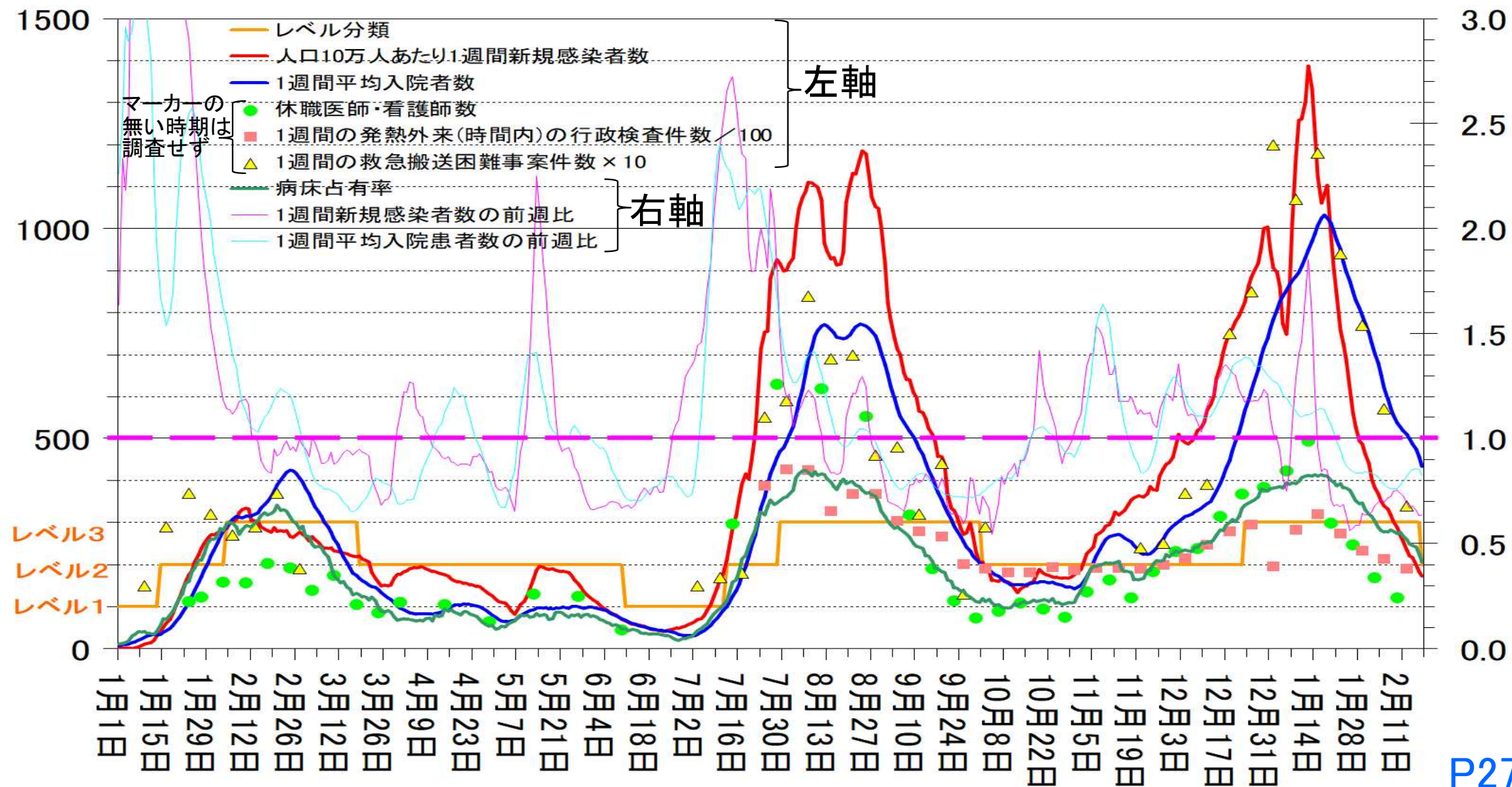
150,162,166,189,190,195,151,173,180,163,172,160,164,184,153,175,157,150,163,152,134,147,142,144,140,228, 74, 129,227,152,165,151,138,

# 静岡県 1週間の救急車出動及び搬送困難事案の状況 (2022.6/27～2023.2/12)

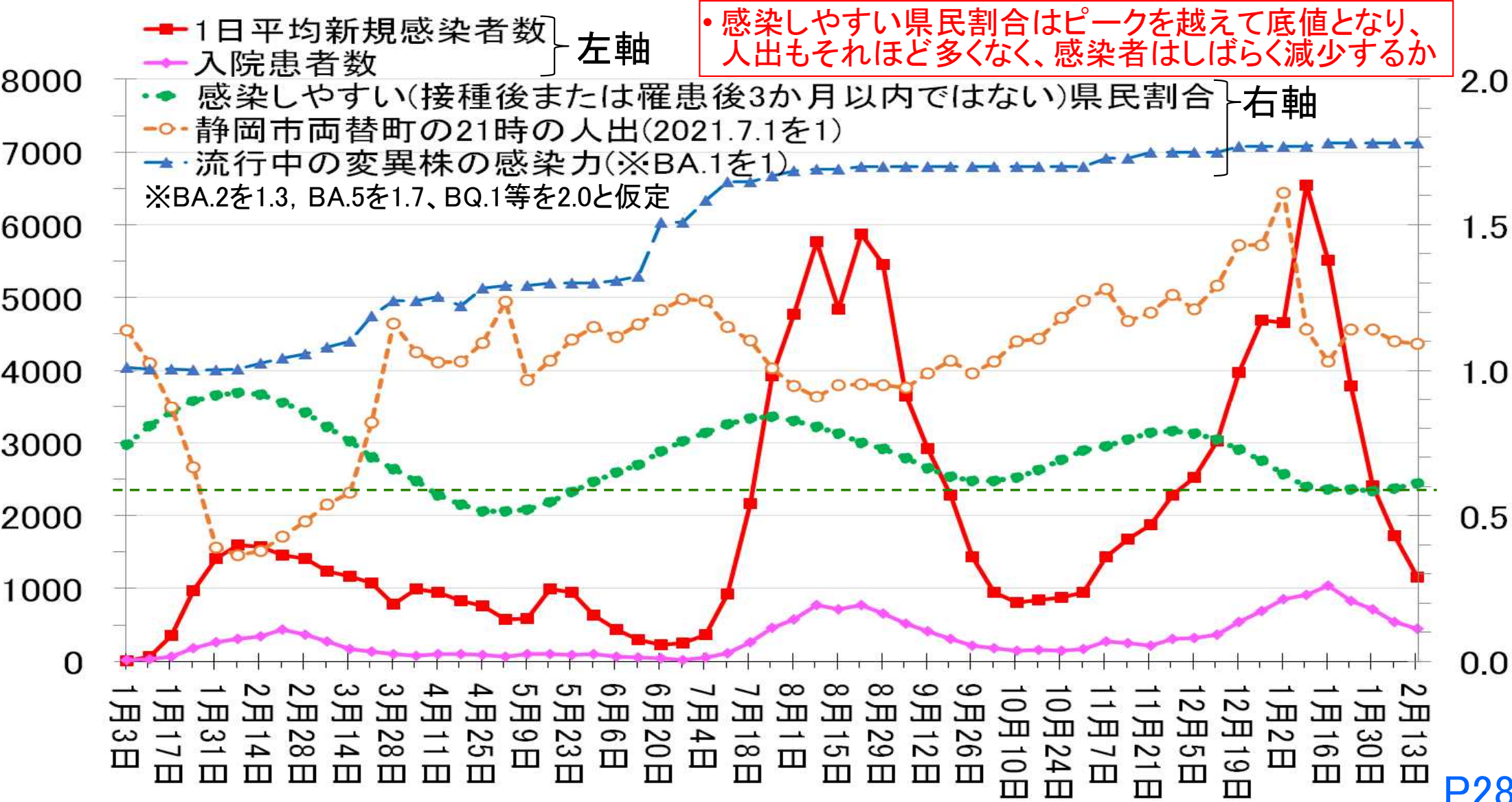
[政令市を含む全県]



# 静岡県 感染者・入院者数等指標とレベル分類の推移(2022.1/1~2023.2/17)



# 静岡県 感染者・入院者数と感受性県民、人出、流行株感染力の推移(2022.1/3~2023.2/13)



# 日本 今季のインフルエンザの流行状況(2/6~12 第6週時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》

300,000  
(件数)

- 2017-18
- 2018-19
- 2019-20
- 2020-21
- 2021-22
- 2022-23

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)

- 2017-18シーズン、2018-19シーズンは大きな流行があった
- 2019-20シーズンは、2020年1月からコロナの感染対策が始まったため、インフルエンザの流行は拡大せず漸減
- 2020-21シーズンと、2021-22シーズンは、明らかな流行は認められなかった
- 2022-23シーズンは全国定点あたり報告数は11月以降増加し、定点医療機関辺りの報告者数は、第50週1.24で流行期に入り、**第6週は12.91**
- 本県は第51週(12/19~25)が1.00で流行期に入り、**第6週(2/6~12)は4.24**

250,000

200,000

150,000

100,000

50,000

0

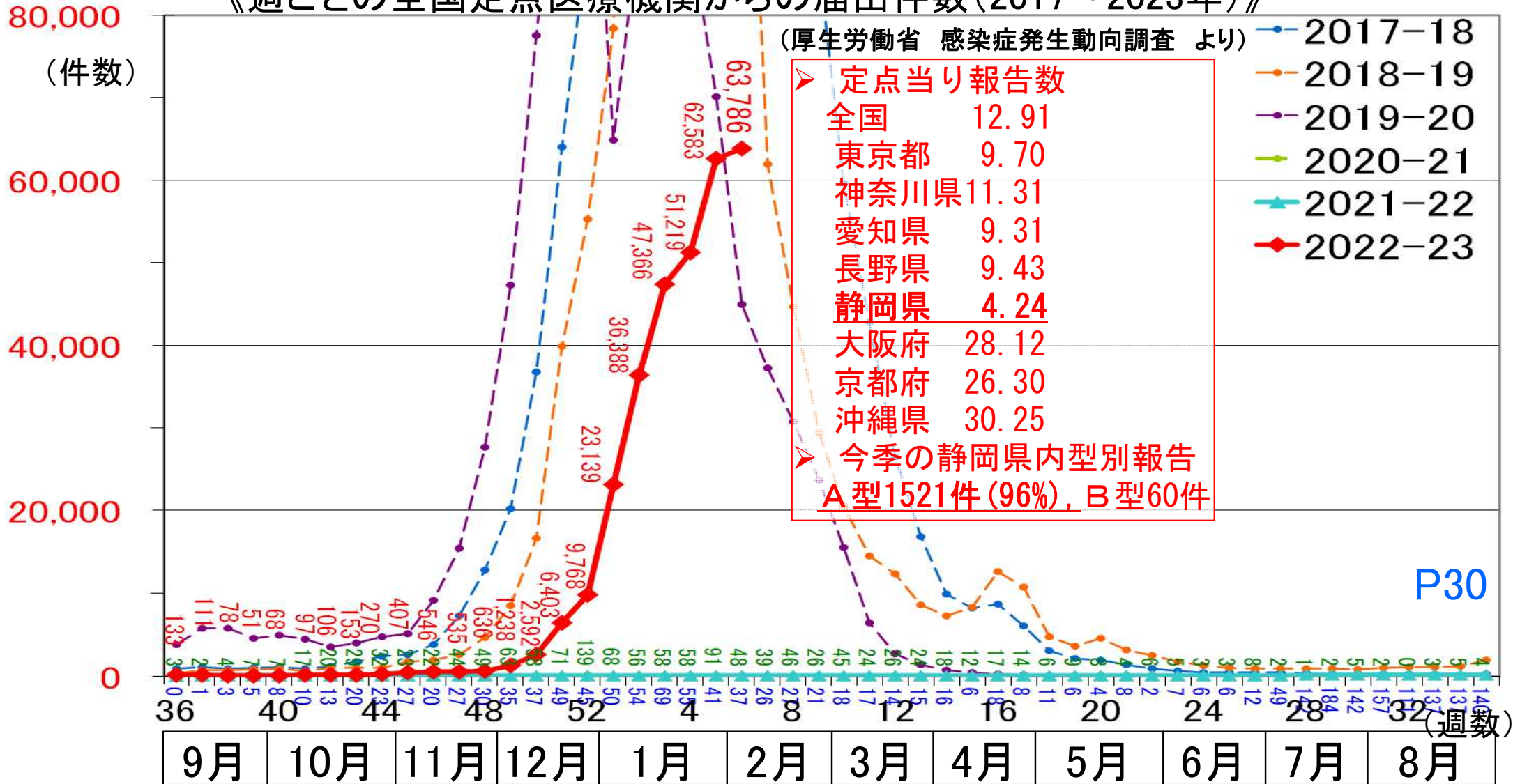
36 40 44 48 52 4 8 12 16 20 24 28 32(週数)

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月

P29

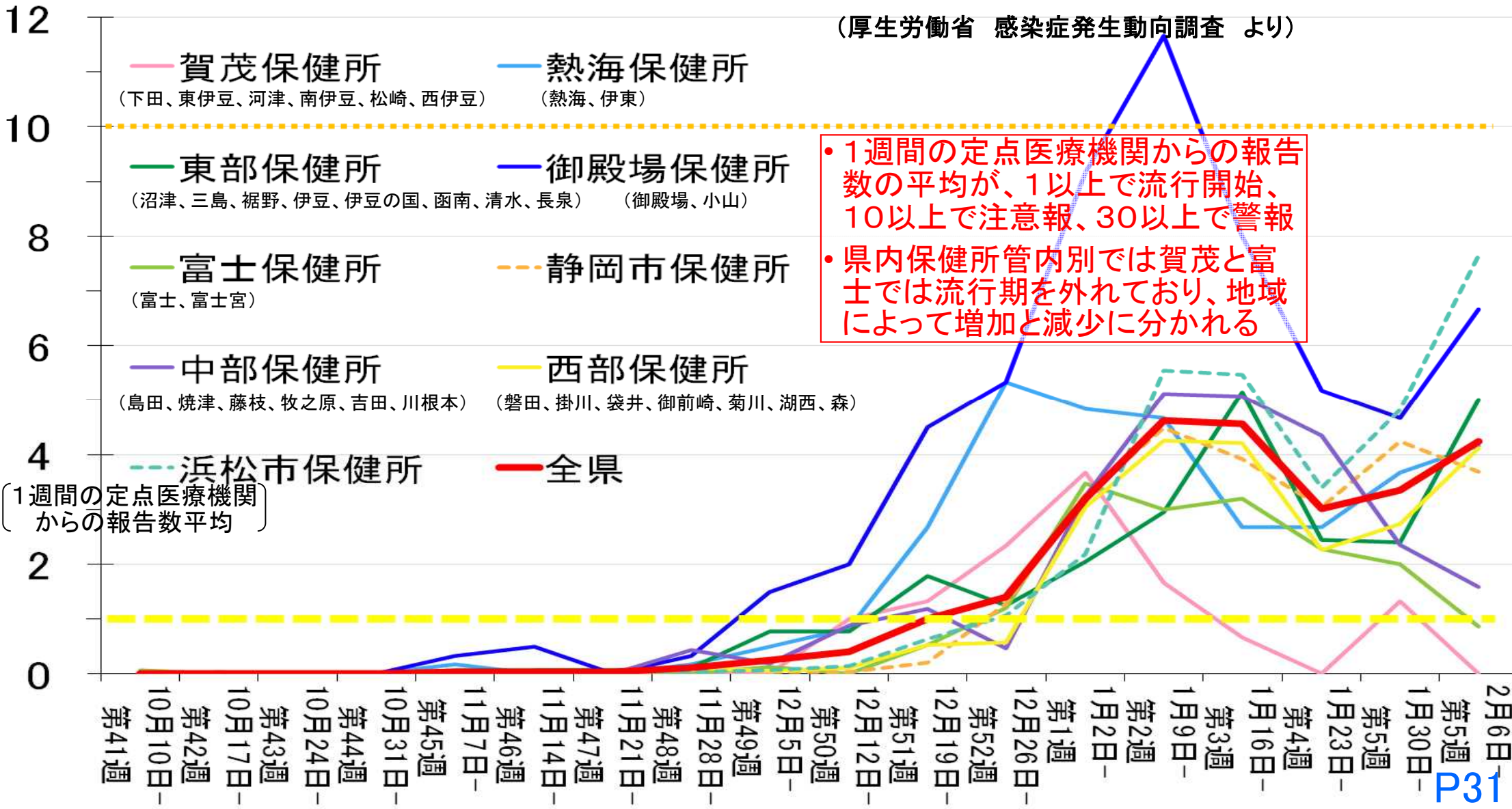
# 日本 今季のインフルエンザの流行状況(2/6~12 第6週時点) 【拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2023年)》



# 静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.10/10～2023.2/12)

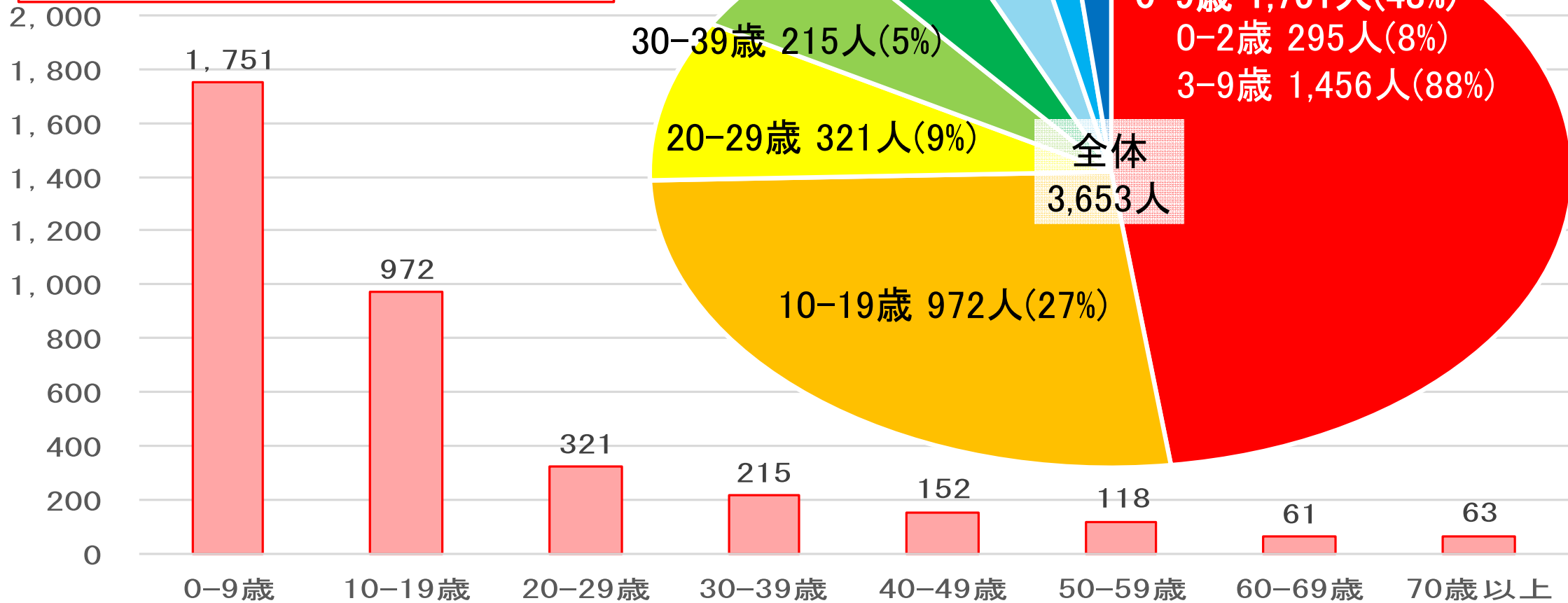
(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



# 静岡県は今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合

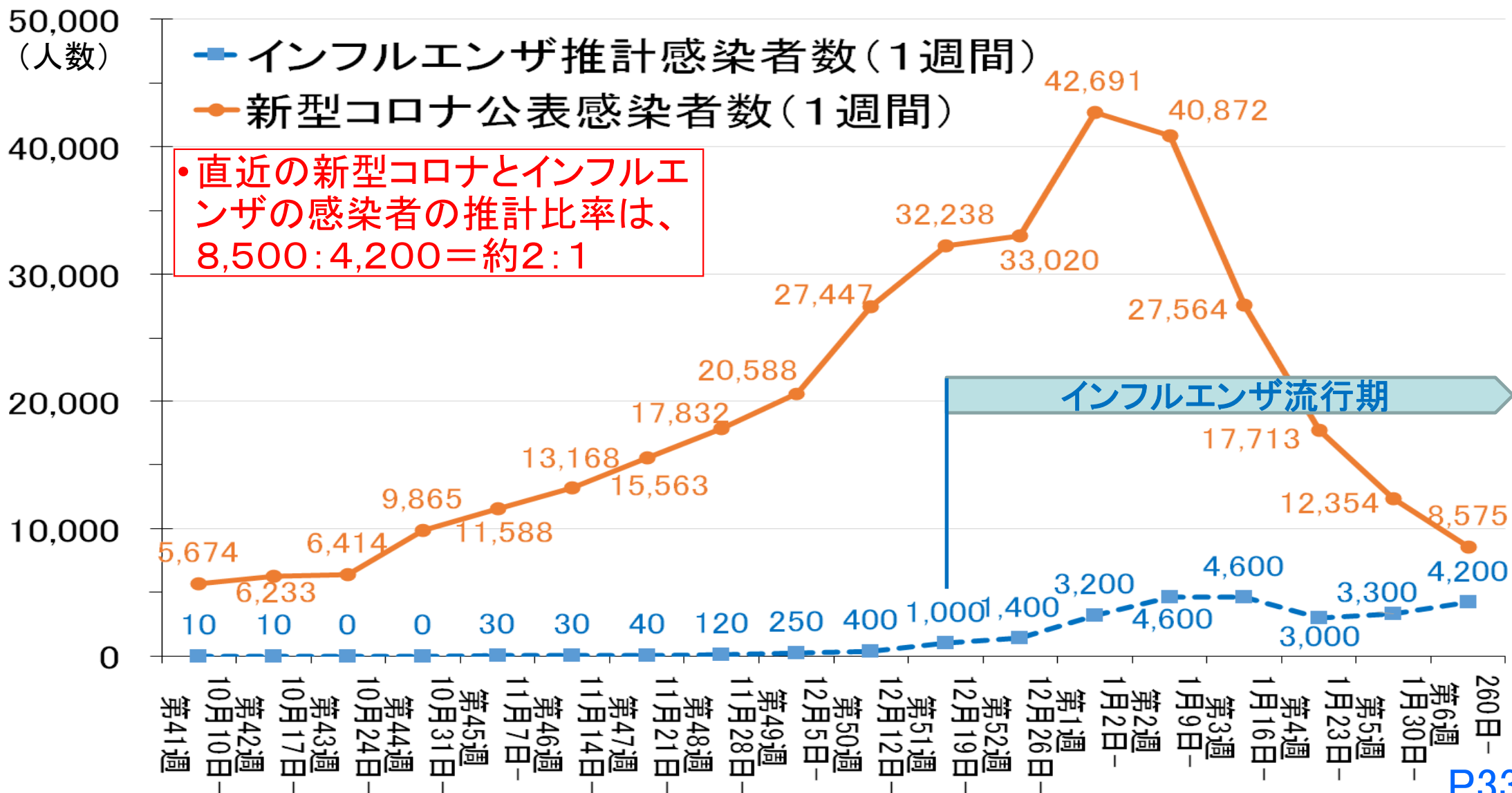
2022年9月から2023年第6週(2/6~12)まで (政令市含む全県)

- 10歳未満の割合が最も多く48%
- 次いで10歳代、20歳代の割合が多く、27%、9%
- 20歳代以下が84%を占めている





# 静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況(2022.10/10~2023.2/12)



# 静岡県 新しい国レベル3からレベル2に下げる指標と目安値 (2/15時点)

※ 前提条件: 1週間新規感染者数の前週比1.0倍未満が約4週間継続 ⇒ 1月15日から32日間連続1.0倍未満 **P34**

指標	目安値	第7波時の最高値	直近値 (2月15日) [対前週増減値]	指標と目安値の考え方
① コロナ受入病院の コロナ入院者数の合計	400人	800人 (8月9日)	<b>431人</b> [-95] (2月15日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスター者も含めて受入病院の全コロナ入院者で負担を評価</li> <li>第7波最高値の半分を目安値</li> </ul>
② 最大確保病床 使用率  $\left[ \frac{\text{確保病床入院者数}}{\text{最大確保病床数(国へ届出)}} \right]$	50% 分母907床 (1月26日~)	73.0% = 566/775 (8月27日)	<b>29.0%</b> [-8.4] = 263/907 (2月15日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今冬の最大確保病床数を分母とする確保病床使用率50%未満が、国の「判断に係る指標」とその目安値に適合すると考える</li> </ul>
③ コロナ/インフル感染/濃厚接触による受入病院の休職 医師・看護師数	300人	630人 (7月28日)	<b>121人</b> [-49] (2月9日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「判断に係る事象」に該当</li> <li>第7波最高値の半分弱を目安値</li> </ul>
④ 1週間の発熱外来(時間内)の行政検査件数	2.1万件	42,543件 (7月25-31日)	<b>19,099件</b> [-2,168] (2月6-12日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「判断に係る事象」に該当</li> <li>第7波最高値の半分弱を目安値</li> </ul>
⑤ 1週間の救急搬送困難事案の件数	40件	84件 (8月1-7日)	<b>34件</b> [-23] (2月6-12日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の「判断に係る事象」に該当</li> <li>第7波最高値の半分弱を目安値</li> </ul>

# 今週の評価レベル分類と医療ひっ迫の状況

区分

県専門家会議  
今週(2月17日)の判断

[1] 評価  
レベル

**レベル2に引下げ**


「医療ひっ迫警報」も「医療ひっ迫注意報」  
に引下げ

[2] 医療  
ひっ迫

コロナ受入病床は、県全体で病床使用率40%  
台に下がり、ひっ迫は徐々に軽減しています。

発熱外来は、ひっ迫が弱まっています。

# 静岡県独自の注意報・警報、国設定の宣言の状況

	感 染	医 療
国設定	<p>なし</p> <p>2月3日解除</p> <p>2月10日終了</p>	<p>医療非常事態宣言</p> <p>医療ひっ迫防止対策強化宣言 1月13日～2月10日</p>
<p>県独自</p> 	<p>感染再拡大警報 11月11日～2月2日</p> <p>感染再拡大注意報 10月21日～11月10日</p>	<p>医療ひっ迫警報 12月23日～1月12日 2月11～16日</p> <p>医療ひっ迫注意報 10月1日～12月22日 2月17日～</p>

レベル2で医療ひっ迫注意報発令中



コロナ, インフルの**再増**で  
医療のひっ迫を**再度強める**  
ことがないように県民皆さまは



- ・会話時, 人混みでの**マスク着用を!**
- ・人が集まる室内の**換気を!!**
- ・ワクチン検討 (**オミ, インフル**) を



# 国決定 マスク着用の考え方の見直しについて(2023.2/10)

区分	内容
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>マスク着用は個人の判断を尊重して委ね、本人の意思に反して着脱を強制しない</b></li> <li>• 政府は、マスク着用が効果的な場面を周知し、その場合のマスク着用を推奨</li> <li>• 3月13日から適用(学校は4月1日から)</li> </ul>
マスク着用が効果的な場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、<b>以下の場面ではマスク着用を推奨</b> ①医療機関受診時 ②医療機関や高齢者施設等訪問時 ③混雑した電車・バス</li> <li>• <b>重症化リスクの高い者が、流行期に混雑した場所に行く場合もマスク着用が効果的</b></li> </ul>
症状がある場合等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>症状がある者・コロナ陽性者・その同居家族は外出を控えるが、やむを得ず外出する場合は、人混みを避け、マスクを着用</b></li> </ul>
学校・保育所等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>マスク着用を求めないことが基本</b></li> <li>• マスク着用を希望する児童生徒に適切に配慮</li> <li>• 換気の確保</li> <li>• マスク着用を促す場合も児童生徒や保護者等の判断を尊重し、着脱を強制しない</li> <li>• 卒業式では児童生徒はマスク着用せず出席することを基本(合唱・呼掛けはマスク)</li> </ul>
医療機関や高齢者施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>従事者は、勤務中のマスク着用を推奨</b></li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 感染対策上や事業上の理由から<b>利用者や従業員にマスク着用を求めることは許容</b></li> <li>• 業種別ガイドラインを見直して周知</li> </ul>

(新型コロナウイルス感染症対策本部決定通知より)

# マスク着用が不要な場合について

熱中症のリスクや表情が見えにくくなることによる小児の発達への懸念から、**マスク不要な場合**を明確にお示しします。

- ① 屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要
- ② 就学前の子どもには、マスクは原則不要



※ マスク着用が推奨される場合に変わる場合がありますので、外出時は常にマスクの携行を

# マスクは常に携行しましょう！ 場合別マスク着用の参考表

周囲の人の状況 屋内/屋外	自分1人のみ	同居人のみ	同居人以外の人々 <small>(事例の赤字は国通知の事例)</small>			
			2m以上離れている <small>ふとん 2m</small>		2m以内にいる	
			ほとんど会話無し	会話・発声あり	ほとんど会話無し	会話・発声あり
<b>屋内</b> ※1 	<b>不要</b> 例) 1人で部屋で過ごす	<b>不要</b> 例) 家族で居間で団らん	<b>不要</b> 例) 図書館で席を離れて座り自習	<b>推奨</b> ※2 例) 離れた席でおしゃべり	<b>推奨</b> 例) 通勤電車・バスの中	<b>推奨</b> 例) 狭い会議室での会議、カラオケ、麻雀
<b>屋外</b> 	<b>不要</b> 例) 1人で散歩や自転車	<b>不要</b> 例) 家族でハイキング	<b>不要</b> 例) 静かにランニング・サイクリング・釣り	<b>不要</b> 例) 密にならない外遊び・テニス	<b>不要</b> 例) 徒歩通勤、静かな行列、野外での観劇	<b>推奨</b> 例) 繁華街・観光地の人混み、友人とBBQ、球技観戦

\* 就学前の子どもには、マスクは原則不要

\* 高齢者や基礎疾患のある人、またはそのような方と接する人は、マスク着用を推奨

\* マスク着用なしで咳やくしゃみをする際は、口鼻をハンカチやそででおおう(咳エチケット)

※1; 車内(電車、バス、自家用車等)を含む

※2; 十分な換気等の感染対策をしている場合はマスクを外すことも可

(静岡県 2022.5.25 知事定例記者会見資料)





# 国決定 3月13日からのマスク着用①

**マスク着用は各自が判断して決める**

**マスク着用を推奨**する場面は

- ① 医療機関（病院・診療所）受診時
- ② 医療機関や高齢者施設等の訪問時
- ③ 混雑している電車・バスの車内
- ④ 高齢者など重症化リスクのある人が、コロナ流行時に人混みに行く時

# 国決定 3月13日からのマスク着用②

**マスク着用は各自が判断して決める**

**外出を控える人が、やむを得ず外出するときは、マスクを着用する**

- ① コロナを疑う症状がある人**
- ② コロナ陽性の人**
- ③ コロナ陽性の人と同居家族**

# 国決定 3月13日マスク着用見直し後も

基本的な感染対策の励行をお願いします  
(特に**感染が再拡大しているとき**)

- ① 密集・密接・密閉を避ける
- ② 人と人の距離2mの確保
- ③ こまめな手洗いや手指消毒
- ④ 定期的な換気

# オミクロンワクチン接種まだの方へ

オミクロン株対応ワクチン接種をした人は、接種していない人と比べて

- ・発症が約2分の1に低下
- ・高齢者の入院が約4分の1に低下

という報告があります

オミクロン株対応ワクチン接種  
がまだの方は、ぜひ御検討を!!

